



PowerShot D30

カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(📖 14)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

ページ上部のボタンをクリックすると、ページを移動できます。

← 目次

: 目次に移動します。

← 章目次

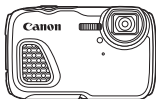
: 各章の目次（先頭ページ）に移動します。

日本語

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。

万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



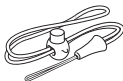
カメラ



バッテリーパック
NB-6LH



バッテリーチャージャー
CB-2LY



リストストラップ

印刷物一式

- メモリーカードは付属されていません (📖3)。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード*
 - SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*
 - SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード* 
 - Eye-Fi（アイファイ）カード
- * SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

Eye-Fi カードについて

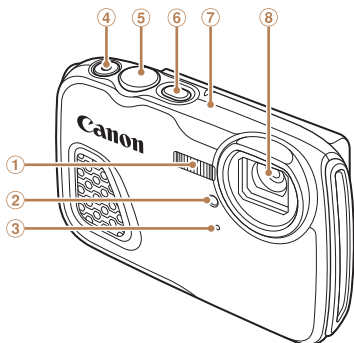
本製品は、Eye-Fi カードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。

また、Eye-Fi カードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

各部のなまえと記載について



- | | |
|-----------|-------------|
| ① ストロボ | ⑤ シャッターボタン |
| ② ランプ（前面） | ⑥ 電源ボタン |
| ③ マイク | ⑦ GPS 信号受信部 |
| ④ 動画ボタン | ⑧ レンズ |

- カメラのボタンは、ボタンに表記されている絵文字を使って示しています。
- ：知っておいいただきたい重要事項を示しています。
- ：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

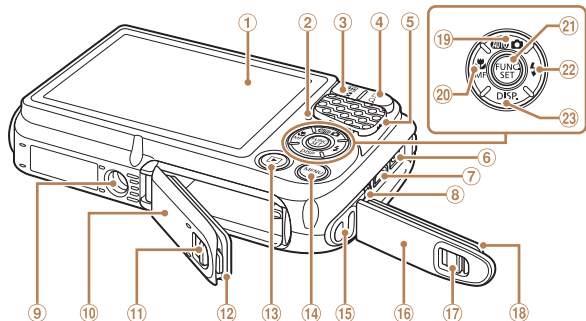
- タイトルの上にあるタブは、その機能が静止画や動画で使えるかどうかを示しています。

静止画

： 静止画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

動画

： 動画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。



- | | |
|--|----------------------------------|
| ① 画面（液晶モニター） | ⑫ 防水パッキン |
| ② ランプ（背面） | ⑬ <▶（再生）> ボタン |
| ③ ズームボタン
撮影時：<📶（広角）>
再生時：
<📐（インデックス）> | ⑭ <MENU（メニュー）> ボタン |
| ④ ズームボタン
撮影時：<📏（望遠）>
再生時：<Q（拡大）> | ⑮ ストラップ取り付け部 |
| ⑤ スピーカー | ⑯ 端子部ふた |
| ⑥ DC IN（電源入力）端子 | ⑰ 端子部スイッチ |
| ⑦ HDMI™ 端子 | ⑱ 防水パッキン |
| ⑧ A / V OUT（映像／音声出力）・DIGITAL（デジタル）端子 | ⑲ モード切り換えボタン／上ボタン |
| ⑨ 三脚ねじ穴 | ⑳ <📷（マクロ）>／<MF（マニュアルフォーカス）>／左ボタン |
| ⑩ カード／バッテリー収納部ふた | ㉑ FUNC./SET（ファンクション／セット）ボタン |
| ⑪ カード／バッテリー収納部スイッチ | ㉒ <⚡（ストロボ）>／右ボタン |
| | ㉓ <DISP.（ディスプレイ）>／下ボタン |

- 次の操作部材は、絵文字で示しています。
 <▲> 背面 ①9 上ボタン <◀> 背面 ②0 左ボタン
 <▶> 背面 ②2 右ボタン <▼> 背面 ②3 下ボタン
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。

目次

カメラと付属品の確認	2
使えるカード（市販品）について	3
お使いになる前にお読みください	4
各部のなまえと記載について	5
目次	9
やりたいこと目次	11
安全上のご注意	14

基本編 20

防水・防塵・耐衝撃性能についてのご注意	21
準備する	24
使ってみる	36

活用編 43

カメラを知る 43

電源の入れかた／切りかた	44
シャッターボタンの押しかた	46
撮影時の画面表示の切り換えかた	48
FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法	49

MENU（メニュー）の表示と操作方法	51
ランプの表示	53
時計機能	54

GPS 機能を使う 55

GPS 機能を使う	56
-----------------	----

オートモード 69

カメラまかせで撮る	70
よく使う機能や便利な機能を使う	80
自分好みの画像を撮るための機能を使う	88
撮影の手助けとなる機能を使う	93
自分好みに機能を変える	96

いろいろな撮影モード 100

いろいろなシーンで撮る	101
効果をつけて撮る	108
特殊なモードでいろいろな画像を撮る	118
いろいろな動画を撮る	129

Pモード	132	アクセサリ	226
プログラム AE で撮る ([P] モード)	133	システムマップ	227
明るさ (露出) に関する 機能を使う	134	別売アクセサリ	229
色や連続撮影に関する 機能を使う	138	別売アクセサリの 使いかた	233
ストロボに関する機能を 使う	156	ソフトウェアを使う	241
再生モード	160	印刷する	248
見る	161	Eye-Fi カードを使う	266
画像を探したり、特定の 画像だけを見る	169	付録	269
いろいろな方法で画像を 見る	173	故障かな? と思ったら	270
保護する	178	画面に表示される メッセージ一覧	276
消す	184	画面の表示内容一覧	279
回転する	189	機能 / メニュー 一覧	284
分類する	192	日ごろの取り扱いに ついて	304
静止画を編集する	198	主な仕様	305
動画を編集する	207	索引	310
設定メニュー	209		
カメラの基本機能を 変える	210		

やりたいこと目次

撮 る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード）..... 70

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



水中で
(📖 101)



水中で大きく
(📖 102)



夜景
(📖 103)



暗い場所で
(📖 102)



花火
(📖 103)

人を上手に撮りたい



雪景色で
(📖 102)



人をきれいに
(📖 102)

効果をつけて撮りたい



魚眼レンズのように
([109](#))



ミニチュア模型の
ように
([110](#))



トイカメラ風に
([112](#))



モノクロで
([113](#))



鮮烈な色で
([108](#))



イラスト風に
([108](#))

- 人の顔を上手に撮りたい.....[70](#)、[102](#)、[148](#)
- ストロボ禁止の場所で撮りたい
(ストロボ発光禁止).....[85](#)、[156](#)
- 自分も一緒に写りたい (セルフタイマー撮影).....[81](#)、[124](#)
- 画像に日付を写し込みたい.....[86](#)
- 写真と一緒に動画を記録したい.....[118](#)

▶ 見る

- 画像を見たい.....[161](#)
- 自動再生で見たい (スライドショー).....[174](#)
- テレビで見たい.....[233](#)
- パソコンで見たい.....[242](#)
- 画像を素早く探したい.....[169](#)
- 画像を消したい.....[184](#)

動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい..... 70、129
- 動画を見たい..... 161
- 動きの速い被写体を撮影しスローモーションで見たい.... 130

印刷する

- 写真を印刷したい..... 248

残す

- 画像をパソコンに保存したい..... 244

その他

- GPS 機能を使いたい..... 55
- 明るい場所でも画面を見やすくしたい..... 213

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 内部に液体や異物などを入れない。

感電、火災の原因となります。

製品の内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーを取りはずし、バッテリーチャージャーが濡れたときは、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となることがあります。

- 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。

感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。

- 指定外のバッテリーや電池は使わない。
- バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。

液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。

やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。

- 直射日光のあたるところ
- 40℃を超える高温になる場所
- 湿気やホコリの多いところ

バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

- 長時間画面を見ていると、不快感を感じるがありますのでご注意ください。

- 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がる時に指をはさまないようにする。

けがの原因となることがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。

撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 水深 25m を超える水中や、温泉では使用しない。

故障、水漏れの原因となります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。

故障の原因となることがあります。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。

液漏れにより故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、ふたを閉めて保管する。

ふたを開けたまま保管すると、水分やホコリにより、故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

-
- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

-
- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

-
- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。液晶モニターの破損の原因となります。
-

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。また、液晶モニターが閉じられる製品では、液晶モニターを内側に向けて閉じる。
- ストラップにアクセサリを付けない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。



基本編

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

防水・防塵・耐衝撃性能に ついてのご注意	21
準備する	24
使ってみる	36

防水・防塵・耐衝撃性能についてのご注意

このカメラでは、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深25m以内での水中撮影を楽しむことができます。ただし、温泉では使用できません。

なお、取り扱い上の不注意により、万が一、水漏れ事故を起こしたときは、カメラやバッテリー、メモリーカードなどの損傷、および記録内容の補償はご容赦ください。また、防水・防塵・耐衝撃性能は当社の試験基準によるもので、無破損や無故障を保証するものではありません（防水性能、防塵性能、耐衝撃性能は  305 をご覧ください。）。

使用する前のご注意

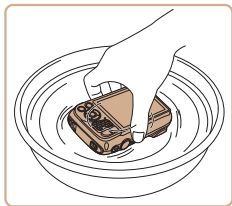
- カメラを撮影前に、カード／バッテリー収納部ふたと端子ふた（ 5）が確実に閉まっていることを確認してから使用してください（ 28、36）。両方のふたが確実に閉まっていないと、内部に水が入り故障の原因となります。
- ふたの裏側の防水パッキン（ 28）やその接触面に傷をつけたり、異物（砂やゴミ、頭髮など）を挟み込まないようにしてください。水漏れの原因となります。パッキンに傷があるときは、水中で使用しないでください。
- 海辺や海上でのふたの開閉は、できるだけ避けてください。メモリーカード、バッテリーの交換などは、湿気の少ない、潮風の当たらない場所で行ってください。
- カメラが水に濡れた状態でふたを開けないでください。カメラが濡れているときは、乾いたやわらかい布で水分を十分に拭き取ってください。

使用するときのご注意

- 水深 25m を超える水中では使用しないでください。
- 水中ではカメラに衝撃を与えないでください。衝撃でふたが開いたり、防水性能が保てないことがあります。
- 当社試験基準による耐衝撃性能（ 305）がありますが、衝撃によってはカメラに傷がついたり、故障の原因となることがあります。高い所から落としたり、過度な衝撃を与えたりしないでください。
- このカメラをぶつけたり落下させたりなど、衝撃を与えたあとの防水性能は保証しません。

使用後のお手入れのご注意

- お使いになった後に水分や砂などがついていているときは、カメラを水洗いしてください。水分は汚れやさびの原因となったり、砂などがついたまま直接拭くと、表面に傷をつけることがあります。
- 水中および砂や泥などの異物が付着するようなところや、特に海中で使用した後は、なるべく早く真水（30℃以下の水道水など）で十分に洗ってください。
異物や塩分などがついたままにしておくと、金属部分がさびたり、ボタンが動きにくくなることがあります。
- 水洗いしたあとは、乾いたやわらかい布で水分を十分拭き取ってください。お手入れ後はボタンやふたがスムーズに動くことを確認してください。
- 防水パッキンに砂や異物がついたままにしたり、薬品やグリース等を使用したりしないでください。故障、水漏れの原因となります。



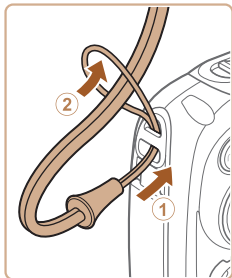
防水パッキンについて

- 防水パッキンの傷やひび割れは水漏れの原因となります。ただちに修理受付窓口へお持ちください。有償で新しい防水パッキンと交換します。

準備する

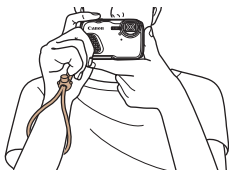
ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



- ①ストラップの先端を取り付け部に通して、②通した先端にストラップを通します。

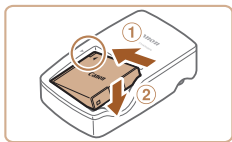
カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボに指がかからないようにしてください。

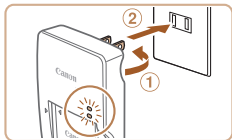
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。



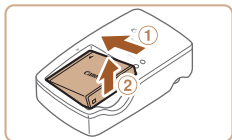
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを①の方向へおこして、②コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り外します。



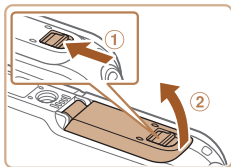
- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P.306)を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

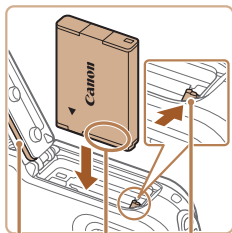
バッテリーとカードを入れる

付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。
 なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（[215](#)）することをおすすめします。



1 ふたを開ける

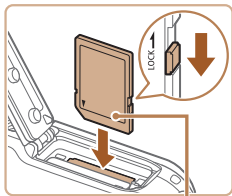
- ①の方向にスイッチを動かしたまま、②の方向へふたを開けます。



端子部
 防水パッキン
 バッテリーロック

2 バッテリーを入れる

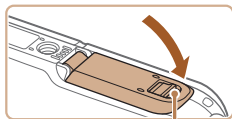
- バッテリーを図の向きにして、バッテリーロックを矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きに入れてください。
- 防水パッキンにバッテリーを当てて傷をつけないよう、注意してください。



ラベル面

3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを解除側に動かします。
- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。
- 防水パッキンにカードを当てて傷をつけないよう、注意してください。



赤い印

4 ふたを閉める

- ふたを押さえたまま矢印の方向へたおし、「カチッ」と音がするまで閉めます。
- スイッチが図の位置まで戻り、赤い印が見えていないことを確認します。

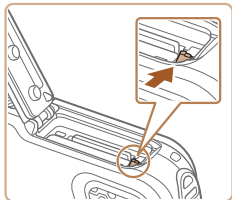


- 水中やカメラが水に濡れた状態で、ふたを開けないでください。なお、カメラが濡れているときは、乾いたやわらかい布で水分を十分に拭き取ってください。
- 防水パッキンやその接触面に傷をつけたり、異物（砂やゴミ、頭髮など）を挟み込まないようにしてください。水漏れの原因となります。
- 海辺や海上でのふたの開閉は、できるだけ避けてください。メモリーカード、バッテリーの交換などは、湿気が少なく、潮風の当たらない場所で行ってください。



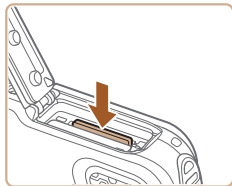
- 1枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（ 307）を参照してください。

■ バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。



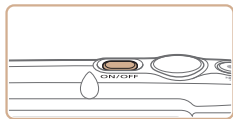
カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を離します。
- カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

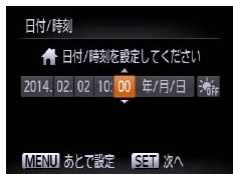
電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。

なお、撮影した日時を画像に写し込むこともできます（[86](#)）。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 「日付／時刻」画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- <◀> か <▶> を押して項目を選びます。
- <▲> か <▼> を押して設定します。
- すべての項目を設定したら、<FUNC SET> を押します。





3 自宅のエリアを設定する

- <◀> か <▶> を押して自宅のあるエリアを選びます。



4 設定を終える

- <FUNC SET> を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



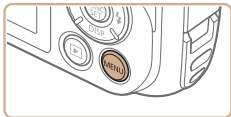
- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに「日付／時刻」画面が表示されます。正しく設定してください。



- 手順2で「☀️Off」を選び、<▲> か <▼> を押して「☀️」にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。

■ 日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



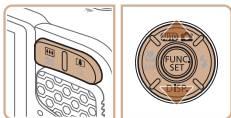
1 メニューを表示する

- <MENU> ボタンを押します。



2 [日付 / 時刻] を選ぶ

- ズームボタンを押して、[YT] タブを選びます。
- <▲> か <▼> を押して [日付 / 時刻] を選び、<FUNC SET> を押します。



3 日付／時刻を変える

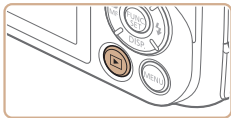
- 「日付／時刻を設定する」の手順2 (📖31) の操作で設定します。
- <MENU> ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、AC アダプターキット（別売）（[229](#)）を使うと、カメラの電源を入れなくても約 4 時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」（[31](#)）の操作で正しく設定してください。
- GPS 機能で自動更新することもできます（[67](#)）。

表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- を押したまま、すぐに ボタンを押します。



3 言語を設定する

- <◀> か <▶> を押して言語を選び、<FUNC SET> を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



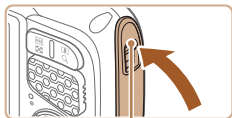
- 手順 2 の操作で <FUNC SET> を押してから、<MENU> ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは <FUNC SET> を押して時計表示を消して、もう一度手順 2 の操作を行います。
- 言語設定は、<MENU> ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[↑] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

使ってみる

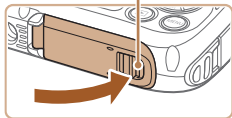
ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



赤い印

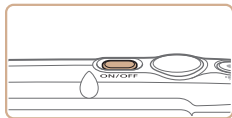


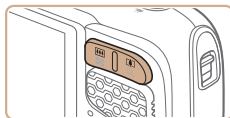
1 ふたが閉まっていることを確認する

- カード／バッテリー収納部ふたと端子ふたのスイッチ部分が図の位置まで戻り、赤い印が見えていないことを確認します。
- 両方のふたが確実に閉まっていないと、カメラが水で濡れたときに、内部に水が入り故障の原因となります。

2 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



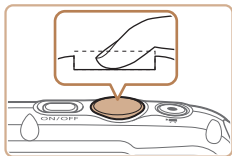
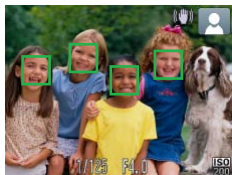
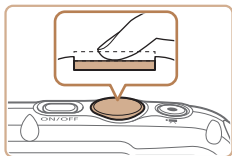


3 [AUTO] モードにする

- <▲> を押したあと、<▲> か <▼> を押して [AUTO] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

4 撮りたいものの大きさを決める

- ズームボタンの <[🔍]> 側を押すと撮りたいものが大きくなり、<[🔍]> 側を押すと小さくなります。



5 撮影する

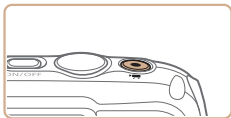
静止画を撮る

① ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピッピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

② 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- 撮影した画像は、約 2 秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと、次の撮影ができます。



撮影時間



動画を撮る

①撮影をはじめる

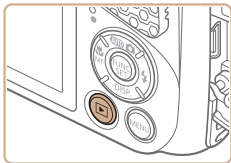
- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

②撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

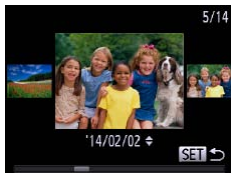
- <▶> ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- <◀> を押すと前の画像が表示され、<▶> を押すと次の画像が表示されます。





- <◀> か <▶> を 1 秒以上押すと左の画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で <◀> か <▶> を押して画像を選びます。
- <FUNC SET> を押すと 1 枚表示に戻ります。
- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

3 動画を再生する

- <FUNC SET> を押したあと、<▲> か <▼> を押して [▶] を選び、もう一度 <FUNC SET> を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET ▶] が表示されます。
- 音量は <▲> か <▼> を押して調節します。



- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

■ 消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選びます。



2 消す

- <FUNC SET> を押したあと、<▲> か <▼> を押して [画] を選び、もう一度 <FUNC SET> を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、<◀> か <▶> を押して [消去] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◀> か <▶> を押して [キャンセル] を選び、<FUNC SET> を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます (📖 185)。

活用編

カメラを知る

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／
切ricかた44

シャッターボタンの
押しかた46

撮影時の画面表示の
切り換えかた48

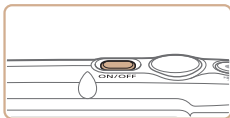
FUNC. (ファンクション) の
表示と操作方法49

MENU (メニュー) の表示と
操作方法51

ランプの表示53

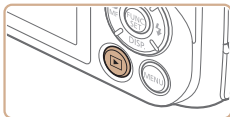
時計機能54

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- <▶> ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- <▶> ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態では<▶> ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態ではシャッターボタンを半押し (46) すると、撮影モードになります。
- 電源を切ったあとすぐに電源ボタンを押しても電源が入らないことがあります。そのときは、少し時間をおいてから入れ直してください。

節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

■ 撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、ランプ（背面）が緑色に点灯します。さらに約 2 分たつと電源が切れます。画面が消えた状態でもランプ（背面）が緑色に点灯しているときは、シャッターボタンを半押し（📖46）すると画面が表示され、撮影できます。

■ 再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

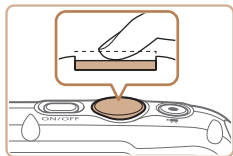


- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（📖219）。

シャッターボタンの押しかた

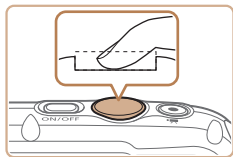
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、<▼>を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(📖279)を参照してください。



情報表示あり



情報表示なし



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(📖165)を参照してください。

FUNC. (ファンクション) の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード (📖287 ~ 290) や再生モード (📖303) によって変わります。



1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- <FUNC. SET> を押します。



項目

メニュー項目

2 メニュー項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押してメニュー項目を選び、<FUNC. SET> か <▶> を押します。
- メニュー項目によっては、<FUNC. SET> や <▶> を押すだけで設定される機能や画面が切り換わる機能もあります。



3 項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して項目を選びます。
- [MENU] が表示される項目では、<MENU> ボタンを押して設定することができます。
- メニュー項目に戻るときは、<◀> を押します。



4 設定を終える

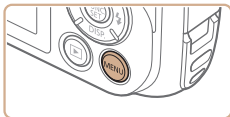
- <◀FUNC SET▶> を押します。
- 手順 1 で <◀FUNC SET▶> を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖224)。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [📷] や再生 [▶] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード（📖293～303）によって変わります。



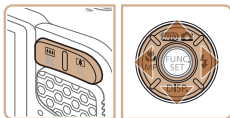
1 メニューを表示する

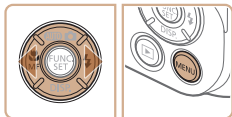
- <MENU> ボタンを押します。



2 タブを選ぶ

- ズームボタンを押して、タブを選びます。
- <▲> か <▼> を押してタブが選ばれている状態にしたあと、<◀> か <▶> を押してタブを選ぶこともできます。





3 項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、<Ⓢ> か <▶> を押して画面を切り換えたあと、さらに <▲> か <▼> を押して項目を選びます。
- <MENU> ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。

4 内容を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して内容を選びます。

5 設定を終える

- <MENU> ボタンを押すと、手順 1 で <MENU> ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (224)。

ランプの表示

カメラ背面のランプ (📖5) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

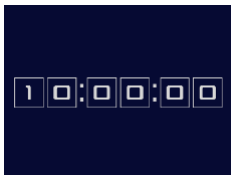
色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時 (📖244)、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (📖45、219)
	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中 (📖126)、ロガー機能動作時 (📖62)



- ランプ（背面）が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- <FUNC SET> を押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、<◀> か <▶> を押すと表示色を変えることができます。
- もう一度 <FUNC SET> を押すと時刻表示が消えます。



- <FUNC SET> を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

GPS 機能を使う

GPS 機能の基本操作や機能を知って使いこなす

GPS 機能を使う.....56

GPS 機能を使う

GPS 衛星から受信した信号を元に、カメラの位置情報（緯度／経度／標高）を撮影した静止画や動画に記録したり、位置情報を画像とは別のデータとして記録できます。また、カメラの時計機能の自動あわせもできます。

なお、GPS 機能を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(31) で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。



GPS 機能を使うときは、次のことに注意してください。

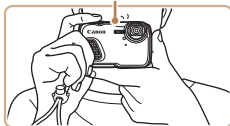
- 国や地域によっては、GPS の使用などが規制されていることがありますので、お使いになる国や地域の法令等の規制にしたがってご使用ください。国外で GPS を使用するときは特に注意してください。
- GPS 衛星からの信号を受信するため、電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS 機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため GPS 機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPS ログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。



- GPS は、Global Positioning System（グローバル ポジショニング システム）の略です。

GPS 機能を使うときの環境とカメラの構えかた

GPS 信号受信部



- 空が見通せる屋外にカメラを持ていきます（屋内などのGPS 衛星からの信号が受信できない環境（[58](#)）では正しく機能しません）。
- 図のようにカメラを正しく構えることで、GPS 衛星からの信号が受信しやすくなります。
- GPS 信号受信部の上に、指や物などをのせないようにします。

ロガー機能を使うときのカメラの持ち歩きかた

GPS 信号受信部をできるだけ空に向けた状態にしてください。バックなどに入れて持ち歩くときは、GPS 信号受信部が空に向くような状態で、できるだけ外側に収納することで、GPS 衛星からの信号が受信しやすくなります。

■ GPS 衛星からの信号が受信できない環境

- 次のような環境では GPS 衛星からの信号が正しく受信できないため、カメラの位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録することがあります。
 - 屋内 ● 地下 ● ビルなどの近くや谷間 ● トンネルや森の中 ● 高圧電線や 1.5 GHz 帯の携帯電話などの近く ● かばんなどにカメラをいれたとき ● 水中 ● 長い距離を移動したとき ● 周囲の環境が異なる場所へ移動したとき
- GPS 衛星は時間の経過とともに移動するため、上記以外の環境でも、カメラの位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録したり、同じ場所でカメラを使っても移動した位置情報を記録することがあります。

■ 信号の受信時間について

- バッテリーを入れ換えたときや GPS 機能を長い時間使わなかったときは、GPS 衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。

GPS 機能を使う



1 設定する

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の[]を選んだあと、[]を選びます(📖49)。
- 戻すときは、上記の操作で[]を選びます。

2 受信状態を確認する

- 空が見通せる屋外にカメラを持ていきます(屋内などの「GPS 衛星からの信号が受信できない環境」(📖58)では正しく機能しません)。
- GPS 受信状態の表示を確認します。



- GPS 機能は **MENU** (メニュー) でも設定することができます(📖51)。

受信状態の表示

	(点灯)	GPS 衛星の信号が受信できました。測位したカメラの位置情報を記録できます。*
	(点滅)	GPS 衛星を探しています。*
	(点灯)	GPS 衛星の信号が受信できません。

* ロガー機能 (📖62) を使えるようにしているときは、[] も表示されます。

■ [📶] が表示されるとき

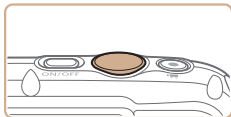
- 屋内など GPS 信号が受信できない環境 (📖 58) でカメラを使っているときは、空が見通せる屋外にカメラを持って行き、カメラを正しく構える (📖 57) か、GPS 信号受信部を空へ向けることで受信しやすくなります。
- 空が見通せる屋外など、受信しやすい環境では数分間で [📶] (点灯) の表示になりますが、数分間待っても [📶] (点灯) が表示されないときは、できるだけ周囲に建物など GPS 衛星からの信号を妨げないところへ移動して [📶] (点灯) の表示になるまで数分間お待ちください。

■ 撮影した画像にカメラの位置情報を記録する

撮影した静止画や動画に、測位したカメラの位置情報（緯度／経度／標高）を記録することができます。記録された位置情報はカメラで確認 (📖 166) したり、ソフトウェア (📖 241) を使うと地図上に表示しながら静止画や動画と一緒に確認することもできます。

1 GPS 機能を使えるようにする

- 「GPS 機能を使う」の手順 1 ～ 2 (📖 59) の操作で設定します。



2 撮影する

- 撮影した静止画や動画に、測位したカメラの位置情報が記録され、「GPS 情報表示」(📖166)で確認できます。



- 撮影した画像に記録される位置情報と一緒に、UTC による撮影日時 (📖166) を記録することもできます (📖67)。



- 動画に記録されるのは、撮影がはじまったときのカメラの位置情報や撮影日時です。
- [📷] モード (📖118) で作成される動画に記録されるのは、1 日のはじめに作成された動画が撮影されたときのカメラの位置情報と撮影日時です。

カメラの位置情報を記録する（ロガー機能）

GPS 衛星からの信号を一定間隔で受信し続けることで、移動の軌跡が記録できます。記録された位置情報や日時は、1 日分の情報が画像とは別の GPS ログファイルとして記録されて、カメラで確認（[📖65](#)）したり、ソフトウェア（[📖241](#)）を使うと地図上で軌跡を確認することもできます。

なお、電源を切っている状態でもバッテリーを消耗するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。そのため、必要に応じてバッテリーを充電するか、充電された予備のバッテリー（別売）の用意をおすすめします。

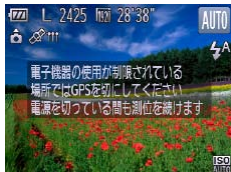


1 設定する

- 「GPS 機能を使う」の手順 1（[📖59](#)）の操作で項目の [🔗] を選び、<MENU> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押して [入] を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。

2 設定を終える

- <FUNC SET> を押すとロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認してください。
- 撮影画面には、GPS の受信状態に連動して [📶] が表示されます（[📖59](#)）。



- ロガー機能が動作し、一定の間隔で GPS 衛星から受信した信号を元に、測位した結果や日時がカメラに記録されます。
- 電源を切っても、ロガー機能は動作します。

3 カードに GPS ログファイルを保存する

- 電源を切ると、メッセージが表示され、カメラに記録された位置情報や日時がカードに保存されます。なお、カードに保存された位置情報や日時は、カメラには残りません。
- 以下の操作でもカメラに記録された位置情報や日時がカードに保存されます。
 - ロガー情報一覧を表示したとき
 - 日付 / 時刻設定画面を表示しようとしたとき
 - エリア設定画面を表示しようとしたとき
- 電源を切ってロガー機能を使ったあとは、カードを取り出す前に、電源を入れて、もう一度電源を切ってください。



- 手順 3 のあとにバッテリーを取り出すと、ロガー機能は停止します。そのため、バッテリーを入れ換えたときは電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっていると GPS ログファイルは保存できないため、スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- 位置情報や日時は、電源を切ったときやロガー情報一覧を表示したとき（ 65）に、カードに保存されます。このため、電源を切ってロガー機能を使ったあとは、カードを取り出す前に、電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
- 記録された位置情報や日時は、バッテリーの残量がなくなっても、カードに保存するまではカメラに保存されています。ロガー機能を設定したあと、カメラを他人に渡すときは、十分注意してください。
- カードを初期化（ 215）すると GPS ログファイルも消えます。カードを初期化するときは十分注意してください。



- ロガー機能は **MENU**（メニュー）でも設定することができます（ 222）。

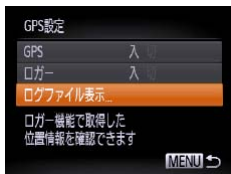
GPS ログファイルを確認する

カードに保存されている GPS ログファイルの内容をカメラで確認できます。



1 [GPS 設定] 画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[YT] タブの [GPS 設定] を選び、<FUNC.SET> を押します (📖51)。



2 [ログファイル表示] 画面を表示する

- [ログファイル表示] を選び、<FUNC.SET> を押します (📖52)。



取得した数



緯度

経度

時刻

3 GPS ログファイルを選んで確認する

- 今日の日付の右側には、最後に測位してからの経過時間が表示されます。
- 目的の日付を選んで<FUNC SET>を押すと、記録された緯度、経度、時刻と、その日に取得した情報の数が表示されます。
- <MENU> ボタンを2回押すと[GPS 設定]画面に戻ります。もう一度<MENU> ボタンを押すとGPS機能やロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認した上で<FUNC SET>を押します。

カメラの日付／時刻を自動的に更新する

GPS 衛星からの信号を受信して、設定しているエリア（[31](#)、[220](#)）の日時へ、カメラの日付／時刻を自動的に更新します。また、撮影した画像に記録される位置情報（[60](#)）と一緒に、UTC による撮影日時（[166](#)）が記録されるようになります。

1 [GPS] を [入] にする

- 「GPS 機能を使う」の手順 1 ～ 2（[59](#)）の操作で設定します。



2 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[YT] タブの [GPS 自動時刻設定] を選んだあと、[入] を選びます（[51](#)）。
- サマータイムを設定するときには、「日付／時刻を設定する」の操作（[32](#)）で設定します。

自動更新されたことを確認する

自動更新されると、「日付／時刻を変える」（[33](#)）の操作で表示される [日付／時刻] 画面に [自動更新しました] と表示されます。また、GPS 衛星からの信号を受信する前は [GPS 自動時刻設定：入] と表示されます。



- [GPS 自動時刻設定] を [入] にしているときは、日付／時刻は自動更新されるため、「日付／時刻を変える」(📖 33) の操作で [日付／時刻] の画面を表示しても、日時を変えることはできません。

オートモード

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る.....	70	撮影の手助けとなる機能を使う	93
よく使う機能や便利な機能を使う	80	自分好みに機能を変える	96
自分好みの画像を撮るための機能を使う	88		

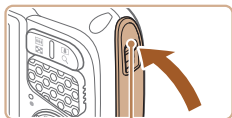
カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

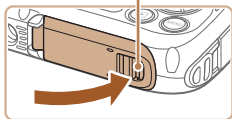
静止画

動画

オートモードで撮る（こだわりオート）



赤い印

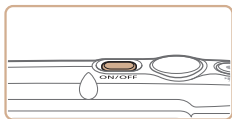


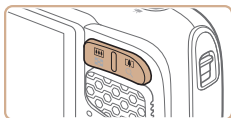
1 ふたが閉まっていることを確認する

- カード／バッテリー収納部ふたと端子ふたのスイッチ部分が図の位置まで戻り、赤い印が見えていないことを確認します。
- 両方のふたが確実に閉まっていないと、カメラが水で濡れたときに、内部に水が入り故障の原因となります。

2 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。





ズームバー

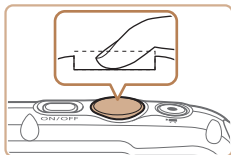
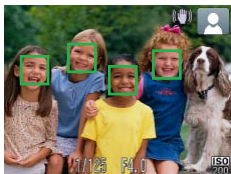
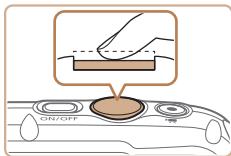


3 [AUTO] モードにする

- <▲> を押したあと、<▲> か <▼> を押して [AUTO] を選び、<FUNC SET> ボタンを押します。
- 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます (77、78)。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

4 撮りたいものの大きさを決める

- ズームボタンの <[📷]> 側を押すと撮りたいものが大きくなり、<[📷]> 側を押すと小さくなります (ズームの位置を示すズームバーが表示されます)。



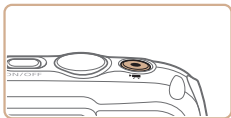
5 撮影する 静止画を撮る

①ピントを合わせる

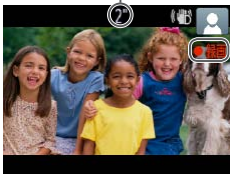
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピッピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。
- 複数の AF フレームが表示されたときは、表示されたすべての AF フレームにピントが合っています。

②撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- 撮影した画像は、約 2 秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと、次の撮影ができます。



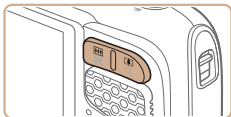
撮影時間



動画を撮る

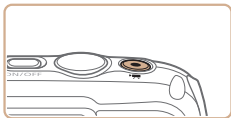
①撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。



②撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順 4 ( 71) と同じ操作で変えます。
ただし、操作音は録音されます。
また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



③撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

■ 静止画／動画



- <▼> を押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、<MENU> ボタンを押して、[🔊] タブの「消音」を選び、<◀> か <▶> を押して「しない」を選びます。

■ 静止画



- [📷] が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(📖308) を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲(撮影範囲)は、「撮影距離」(📖308) を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ(前面)が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに[⚡] が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを離してもう一度押してください。

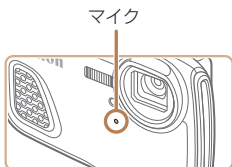


- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます(📖98)。

動画



- 長時間の動画撮影を繰り返行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。



- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声は録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 動画の画質が「1920」のとき（91）は、撮影中に構図を変えると色あいが最適にならないことがあります。そのときは動画ボタンを押して撮影を一度止めてから、もう一度動画ボタンを押して撮影してください。



- 音声はモノラルで録音されます。

シーンのアイコン

〔AUTO〕モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

背景 \ 被写体	人			人以外の被写体			背景色
		動いているとき*1	顔の一部が暗いとき*1		動いているとき*1	近いとき	
明るい				AUTO			灰色
逆光			—				
青空を含む				AUTO			水色
逆光			—				
夕景	—					—	オレンジ色
スポットライト							紺色
暗い				AUTO			
三脚使用時	*2	—		*2	—		

*1 動画撮影では表示されません。

*2 撮影シーンが暗いときに、三脚などでカメラを固定すると表示されます。



● 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、〔P〕モード（[132](#)）で撮影することをおすすめします。

手ブレ補正アイコン

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます。また、[AUTO] モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正		動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック IS）
	静止画を流し撮りで撮るときの手ブレを補正*		動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード IS）
	マクロ撮影するときの手ブレを補正（ハイブリッド IS）		三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正が不要なため停止

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定（[158](#)）すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。

画面に表示される枠

カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。
ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、**[P]** モード (📖 132) で撮影することをおすすめします。

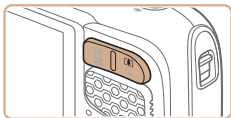
よく使う機能や便利な機能を使う

静止画

動画

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 20 倍まで拡大できます。



1 ズームボタンの <[📷]> 側を押す

- ズームできるところまでボタンを押したままにします。
- 画像が粗くならない最大の倍率になるとズームが止まり、ボタンから指を離すとズーム倍率が表示されます。

2 もう一度 <[📷]> 側を押す

- デジタルズームで被写体がさらに拡大されます。



- 設定した記録画素数（📖 89）とデジタルズームの倍率によっては、ズーム倍率が青色で表示されて画像が粗くなります。



- デジタルズームを使わないようにするには、MENU (📖51) で [📷] タブの [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます (📖51)。

静止画

動画

セルフタイマーを使う

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



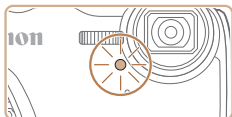
1 設定する

- <FUNC. SET> を押して、メニュー項目の [📷] を選んだあと、項目の [📷] を選びます (📖49)。
- 設定されると [📷] が表示されます。



2 撮影する

- 静止画を撮影するときには、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときには、動画ボタンを押します。



- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の2秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、<MENU> ボタンを押します。
- 戻すときは、手順1の操作で [C_{OFF}] を選びます。

静止画

動画

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。



- 「セルフタイマーを使う」の手順1（[81](#)）の操作で [C₂] を選びます。
- 設定されると [C₂] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順2（[81](#)）の操作で撮影します。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。

1 [C] を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (📖 81) の操作で [C] を選び、<MENU> ボタンを押します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押して [時間] または [枚数] を選びます。
- <◀> か <▶> を押して数値を選び、<FUNC SET> を押します。
- 設定されると [C] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2 (📖 81) の操作で撮影します。



- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した [時間] で撮影がはじまりますが、[枚数] は反映されません。



- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

ストロボを光らせない

ストロボを光らせないで撮影することができます。



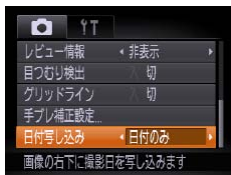
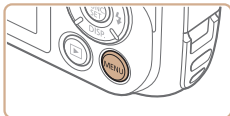
- <▶> を押したあと、<◀> か <▶> を押して [⚡] を選び、<◀FUNC SET> を押します。
- 設定されると [⚡] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [⚡A] を選びます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [⓪] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

日付を写し込む

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。
 なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできません
 ので、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認
 してください（[📖31](#)）。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、
 [📷] タブの [日付写し込み]
 を選び、目的の項目を選びます
 ([📖51](#))。
- 設定されると [日付] が表示
 されます。

2 撮影する

- 撮影した画像の右下に、撮影日
 または撮影日時が写し込まれま
 す。
- 戻すときは、手順 1 の操作で
 [切] を選びます。



- 写し込まれた日付を消したり、修正することはできません。



- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
 - プリンターの機能を使って印刷する (📖248)
 - 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する (📖257)
 - 弊社 Web サイトからダウンロードしたソフトウェア (📖241) を使って印刷する

自分好みの画像を撮るための機能を使う

静止画

縦横比（アスペクト比）を変える

画像の縦横の比率を変えられます。



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の[4:3]を選んだあと、目的の項目を選びます（[49](#)）。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で[4:3]を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- [4:3] 以外では、[デジタルズーム] が [切] に固定されるため、デジタルズーム（[80](#)）は使えません。

記録画素数（画像の大きさ）を変える

画像の記録画素数を 4 種類から選べます。それぞれの記録画素数で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（[307](#)）を参照してください。



- **<FUNC. SET>** を押して、メニュー項目の **[L]** を選び、目的の項目を選びます（[49](#)）。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で **[L]** を選びます。



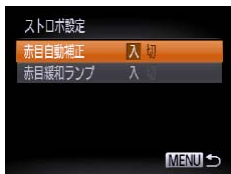
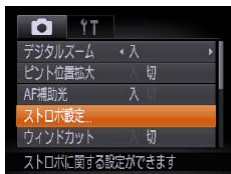
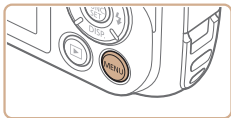
用紙の大きさに選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

A2 相当	L
A3 ~ A5 相当	M1
2L 判 はがき L 判相当	M2

- **[S]** は、電子メールで画像を送るときなどに適しています。

赤目自動補正

ストロボ撮影時に目が赤く写る現象を、自動補正して撮影できます。



1 [ストロボ設定] 画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[カメラ] タブの [ストロボ設定] を選び、<FUNC SET> を押します (p.51)。

2 設定する

- [赤目自動補正] を選んだあと、[入] を選びます (p.52)。
- 設定されると [◎] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 化粧などで目の周りが赤いときは、目以外を補正することがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (📖205)。
- <▶> を押してから <MENU> ボタンを押しても、手順 2 の画面を表示できます。

動画

動画の画質を変える

3 種類の画質から選べます。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「1 枚のカードに撮影できる時間」(📖307) を参照してください。



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [1920] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖49)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [1920] を選びます。

画質	記録画素数	フレーム数	内容
1920	1920 x 1080 画素	24 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
1280	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
640	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

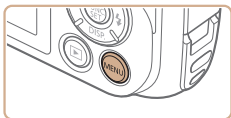


- [F1920] [F1280] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

動画

ウィンドカットを使う

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。



- <MENU> ボタンを押して、[カメラ] タブの [ウィンドカット] を選び、[入] を選びます (51)。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。

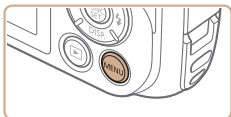
撮影の手助けとなる機能を使う

静止画

動画

グリッドラインを表示する

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。



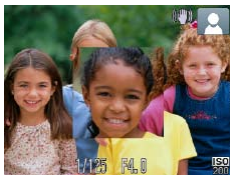
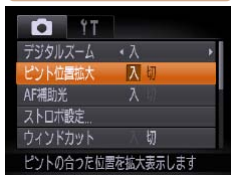
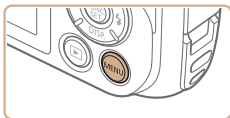
- <MENU> ボタンを押して、[カメラ] タブの「グリッドライン」を選び、[入] を選びます (51)。
- 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で「切」を選びます。



- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

ピント位置を拡大表示する

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム（ピント合わせの枠）の位置を拡大表示してピントを確認することができます。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[カメラ] タブの [ピント位置拡大] を選び、[入] を選びます (51)。

2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。



- 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたときは、シャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。

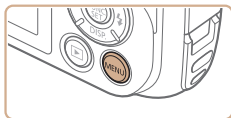


- 次のときはシャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。
 - デジタルズーム (P.80) をしているとき
 - キャッチ AF (P.151) をしているとき
 - テレビに表示しているとき (P.233)

静止画

目をつむった人を確認する

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、[目]を表示してお知らせします。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[目] タブの [目つむり検出] を選び、[入] を選びます (P.51)。

2 撮影する

- 目をつむった人を検出したときは、[目] が点滅表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。



- [目] で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。

自分好みに機能を変える

MENU の [📷] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖51）を参照してください。

静止画

AF 補助光（ランプ）を切る

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの [AF 補助光] を選び、[切] を選びます（📖51）。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

赤目緩和機能（ランプ）を切る

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



1 「ストロボ設定」画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、 タブの「ストロボ設定」を選び、<FUNC SET> を押します (📖51)。

2 設定する

- 「赤目緩和ランプ」を選んでから、「切」を選びます (📖52)。
- 戻すときは、上記の操作で「入」を選びます。

撮影直後の画像表示時間を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えられます。



設定する

- <MENU> ボタンを押して、
[カメラ] タブの「撮影の確認」を
選び、目的の項目を選びます
([51](#))。
- 戻すときは、上記の操作で「2
秒」を選びます。

2 ～ 10 秒	設定した時間だけ画像を表示します。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

撮影直後の画面表示を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。



設定する

- <MENU> ボタンを押して、[カメラ] タブの [レビュー情報] を選び、目的の項目を選びます (📖51)。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖282) になります。
ピント確認	AF フレームの位置を拡大表示して、ピントを確認することができます。操作方法は、「ピント位置を確認する (フォーカスチェッカー)」 (📖167) と同じです。

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る

いろいろなシーンで撮る ..	101	いろいろな動画を撮る.....	129
効果をつけて撮る	108		
特殊なモードでいろいろな 画像を撮る	118		

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 撮影モードを選ぶ

- <▲> を押したあと、<▲> か <▼> を押して撮影モードを選びます。
- 画面の中央上部にアイコンが複数表示されるときは、<◀> か <▶> を押して撮影モードを選びます。
- <FUNC. SET> を押します。

2 撮影する

静止画

動画

水中で撮る（水中）

- 水中にいる生き物や海中の景色などを、自然な色あいで撮影できます。
- ホワイトバランスを補正して、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます（[106](#)）。



静止画

動画

水中で近くの被写体を拡大して撮る（水中マクロ）

- 水中にいる生き物などに近づき、自然な色あいで撮影できます。デジタルズームを使うことでさらに被写体を拡大して撮影できます。

ただし、デジタルズームを使うと、記録画素数（ 89）によっては画像が粗くなることがあります。



静止画

動画

雪景色で撮る（スノー）

- 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あいで撮影できます。

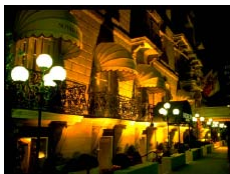


静止画

動画

人を撮る（ポートレート）

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



静止画

📷 三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を1枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



静止画

📷 暗い場所で撮る（ローライト）

- 暗い場所でも手ブレや被写体ブレをおさえて撮影できます。



静止画

動画

📷 花火を撮る（打上げ花火）

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



- [📷] モードでは、撮影シーンによってはISO感度 (📖 137) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [📷] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [📷] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [📷] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 158)。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[📷] モードではなく、[AUTO] モードで撮影することをおすすめします (📖 70)。
- [📷] モードでは、記録画素数は [M] (1984 x 1488 画素) に固定されます。
- [📷] モードでは、光学ズームはもっとも広角に固定され、光学ズームは使えません。

水中でシャッターチャンス逃さずに撮る

〔〕モード (📖101) にしてフォーカスゾーンを〔〕に設定すると、シャッターチャンス逃さずに、水中で3 m程度離れた被写体を撮影することができます。特に、動き回る被写体を撮影したいときに有効です。

1 〔〕を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1 (📖101) の操作で〔〕を選びます。



2 フォーカスゾーンを選ぶ

- <◀> を押したあと、<◀> か <▶> を押して〔〕を選び、<FUNC SET> を押します。

3 撮影する

- 中央に表示される枠に被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しします。
- シャッターチャンスがきたら、素早く全押しします。



- 被写体が近いときは、ピントが合わないことがありますので、フォーカスゾーンを〔〕に設定してください。



- シャッターボタンを半押ししても、AF フレームの色は白のままです。
- キャッチ AF (151) にしているときは、設定できません。

静止画

動画

ホワイトバランスを補正する

[] [] モード (101) のときにホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

1 [] か [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の
手順 1 ~ 2 (101) の操作
で [] または [] を選びます。

2 ホワイトバランスを選ぶ

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [AWB] を選び、もう一度 <FUNC SET> を押します。



3 補正する

- ズームボタンを押して B、A の補正量を調整し、<FUNC SET> を押します。
- 画面に [WB] が表示されます。



- 補正量を設定したあとに手順 2 でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。



- B はブルー、A はアンバーの意味です。
- マニュアルホワイトバランス (📖 139) で白データを取り込んだあとに、上記の操作でホワイトバランスを補正することもできます。

効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。

1 撮影モードを選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の
手順 1 (📖 101) の操作で撮影
モードを選びます。

2 撮影する



静止画

動画

📷 鮮烈な色で撮る（極彩色）

- 色の濃さを強調して、高彩度の
鮮烈な色で撮影できます。



静止画

動画

🎨 イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

- 古いポスターのようなイラスト
風の効果をつけて撮影できま
す。



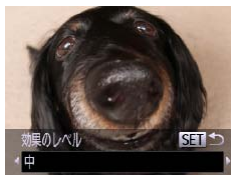
- [📷] [🎨] モードでは、撮影シーンによっては思いど
おりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮
りすることをおすすめします。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [魚] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (📖 101) の操作で [魚] を選びます。



2 効果を選ぶ

- <▼> を押したあと、<◀> か <▶> を押して効果のレベルを選び、<FUNC SET> を押します。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (📖 101) の操作で [📷] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントが合う範囲と位置を指定する

- <▼> を押します。
- ズームボタンを押して枠の大きさを変えたり、<▲> か <▼> を押して枠の位置を変えます。



3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- <MENU> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- <MENU> ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

■ 倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順 2 の画面で <◀> か <▶> を押すと枠が縦になり、<◀> か <▶> を押して位置を変えられます。<▲> か <▼> を押すと枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [1640] に、[16:9] を選んだときは [1280] に固定されます (📖 88)。

トイカメラのような効果をつけて撮る (トイカメラ風)

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (📖 101) の操作で [📷] を選びます。



2 色調を選ぶ

- <▼> を押したあと、<◀▶> か <▶> を押して色調を選び、<FUNC SET> を押します。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

単色で撮る（モノクロ）

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 〔〕を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ( 101) の操作で〔〕を選びます。



2 色調を選ぶ

- <▼> を押したあと、<◀> か <▶> を押して色調を選び、<FUNC. SET> を押します。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

ワンポイントカラーで撮る

画面内の指定した 1 色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。

1 [A] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の
手順 1 (101) の操作で [A]
を選びます。

2 設定画面を表示する

- <▼> を押します。
- 色を変える前の画像とワンポイントカラーの画像が交互に表示されます。
- 初期状態では、残る色が緑色に設定されています。

3 残す色を指定する

- 残したい色が中央の枠いっぱいに入るようにして、<◀> を押します。
- 指定した色が取り込まれます。



取り込まれた色

4 残す色の範囲を指定する

- <▲> か <▼> を押して、残したい色の範囲を変えます。
- 指定した色だけを残すときは－の値を大きくします。指定した色に近い色も残すときは＋の値を大きくします。
- <FUNC SET> を押すと撮影画面に戻ります。

5 撮影する



- ストロボを使うと、思いどおりの画像にならないことがあります。
- 撮影シーンによっては、画像が粗くなったり、思いどおりの色にならないことがあります。

スイッチカラーで撮る

画面内の指定した 1 色を別の色に変えて撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみです。

1 [1/s] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (101) の操作で [1/s] を選びます。



2 設定画面を表示する

- <▼> を押します。
- 色を変える前の画像とスイッチカラーの画像が交互に表示されます。
- 初期状態では、緑色を灰色に変えるよう設定されています。



3 変える前の色を指定する

- 中央の枠いっぱいに入るようにして <◀> を押します。
- 指定した色が取り込まれます。



4 変えたあとの色を指定する

- 中央の枠いっぱいに入るようにして<▶>を押します。
- 指定した色が取り込まれます。

5 変えたあとの色の範囲を指定する

- <▲> か <▼> を押して、変えたい色の範囲を変えます。
- 指定した色だけを変えるときは－の値を大きくします。指定した色に近い色も変えるときは＋の値を大きくします。
- <FUNC SET> を押すと撮影画面に戻ります。

6 撮影する



- ストロボを使うと、思いどおりの画像にならないことがあります。
- 撮影シーンによっては、画像が粗くなったり、思いどおりの色にならないことがあります。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

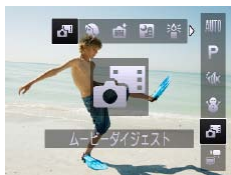
静止画

動画

短編動画を自動で作る（ムービーダイジェスト）

静止画を撮影しているだけで、1日をまとめた短編動画ができます。

静止画を撮影するたびに、その直前のシーンが動画として自動で記録されます。同じ日に記録された動画は、1つのファイルとして保存されます。



1 [📹] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (📖 101) の操作で [📹] を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを押して、静止画を撮影します。
- 撮影直前の約 2 ～ 4 秒間の動画も自動的に記録されます。



- 電源を入れたり [📹] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、動画が記録されないことがあります。
- 静止画と一緒に動画が撮影されるため、[AUTO] モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 動画には、カメラを操作したときの操作音が録音されます。



- [📷] モードで作成された動画の画質は、[640] に固定されます。
- 次のときは、同じ日に [📷] モードで作成された動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - 動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 1 時間になったとき
 - 動画を保護したとき (📖178)
 - サマータイムの設定 (📖31) やエリア設定 (📖220) を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき (📖219)
- シャッターボタンを半押ししたときの音、[操作音]、[セルフタイマー音] (📖211) などの電子音は鳴りません。
- [📷] モードで作成された動画を、日付で選んで見ることができます (📖172)。

顔を見つけて撮る（オートシャッター）

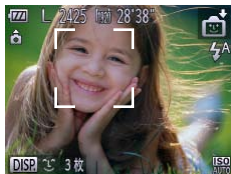
笑顔を見つけて撮る（スマイル）

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。



1 [F] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (101) の操作で [F] を選んだあと、<▼> を押します。
- <◀> か <▶> を押して [F] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 撮影準備に入り、[笑顔を検出中です] が表示されます。



2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- <◀> を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度 <◀> を押すと笑顔の検出を再開します。



- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。



- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順 1 で「」を選んだあと、<▲> か <▼> を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、「目つむり検出」( 95) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

■ ウィンクしたら撮る（ウィンクセルフタイマー）

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウィンクを検出すると、約 2 秒後に撮影されます。



1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (101) の操作で [] を選んだあと、<▼> を押します。
- <◀> か <▶> を押して [] を選び、<FUNC SET> を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ウィンクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り、[ウィンクすると撮影します] が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



4 カメラに向かってウインクする

- 枠が表示された人のウインクが検出されると、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、**<MENU>** ボタンを押します。



- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で **[C]** を選んだあと、**<▲>** か **<▼>** を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、**[目つむり検出]** (📖 95) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。

■ 人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出（ 148）されると、約 2 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。



1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1（ 101）の操作で [] を選んだあと、<▼>を押します。
- <◀> か <▶> を押して [] を選び、<FUNC SET> を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り「顔が増えたら撮影します」が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、**<MENU>** ボタンを押します。



- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で  を選んだあと、**<▲>** か **<▼>** を押すと撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] ( 95) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

長秒時露光で撮る（長秒時撮影）

シャッタースピードを 1 ～ 15 秒の範囲に設定して、長秒時露光撮影ができます。なお、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定して撮影します。



1 [☆] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (📖101) の操作で [☆] を選びます。



2 シャッタースピードを選ぶ

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [1"] を選んだあと、シャッタースピードを選びます (📖49)。

3 露出を確認する

- シャッターボタンを半押しすると、選んだシャッタースピードの露出で画面が表示されます。

4 撮影する



- 手順 3 でシャッターボタンを半押ししたときの画面の明るさは、撮影される画像と異なることがあります。
- シャッタースピードが 1.3 秒以上のときは、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 158)。



- ストロボが発光すると、白トビした画像になることがあります。そのときは、ストロボを [🔌] にして撮影します (📖 156)。

静止画

スティッチアシストで撮る

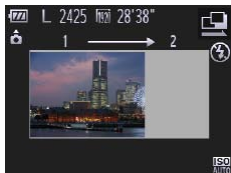
大きな被写体を分割して撮影し、パソコンでソフトウェア (📖 241) を使って合成処理をすると、パノラマ画像が作れます。

1 [📷] か [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (📖 101) の操作で [📷] または [📷] を選びます。

2 1 枚目の画像を撮影する

- 1 枚目の撮影で、露出や色あいが固定されます。





3 2 枚目以降を撮影する

- 1 枚目の画像に重ねるようにして、2 枚目の画像を撮影します。
- 重ねかたが多少ズれても、合成時に自動補正されます。
- 2 枚目の撮影と同様の操作で最大 26 枚まで撮影できます。

4 撮影を終える

- <FUNC SET> を押します。

5 パソコンで合成する

- 画像の合成方法については、「ソフトウェアの使用説明書」(241) を参照してください。

いろいろな動画を撮る

iFrame 動画で撮る

iFrame（アイフレーム）に対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。なお、撮影した動画は、ソフトウェア（[📖241](#)）を使うと、iFrame 動画の編集や保存などを高速に行うことができます。



1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1（[📖101](#)）の操作で [📷] を選びます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。

2 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。



- 記録画素数は [1280]（[📖91](#)）に固定されます。
- iFrame とは、Apple 社が提唱する動画タイプです。

ハイスピード動画を撮る

動きの速い被写体を撮影し、スローモーション再生することができます。なお、音声は録音されません。

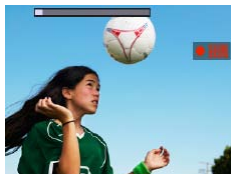
1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 (101) の操作で [] を選びます。



2 フレームレートを選ぶ

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [240] を選び、フレームレートを選びます (49)。
- 設定した項目が表示されます。



3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 撮影時間に連動したバーが表示されます。なお、撮影できる時間は、最長約 30 秒です。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。

フレーム数	画質	再生時間 (30 秒間撮影したとき)
[240] 240 フレーム / 秒	[320] (320 x 240 画素)	約 4 分
[120] 120 フレーム / 秒	[640] (640 x 480 画素)	約 2 分



- 撮影中はズームボタンを操作しても、ズームできません。
- ピント、露出、色あいは動画ボタンを押したときに固定されます。



- 撮影した動画を再生 (📖 161) すると、スローモーション再生されます。
- 撮影した動画は、ソフトウェア (📖 241) を使うと、再生速度を変えて見ることができます。

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る

- **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（📖284～299）

プログラム AE で撮る
（**[P]** モード）..... 133

明るさ（露出）に関する
機能を使う 134

色や連続撮影に関する
機能を使う 138

ストロボに関する機能を
使う 156

プログラム AE で撮る（[P] モード）

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- 「いろいろなシーンで撮る」の
手順 1（[101](#)）の操作で [P]
を選びます。

2 目的に応じて各機能を設定（[134](#)～[159](#)）し、 撮影する



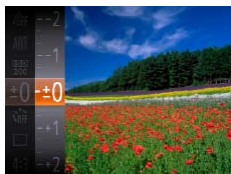
- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり（[137](#)）、被写体が暗いときにストロボを発光させる（[156](#)）と、適正露出が得られることがあります。
- [P] モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、FUNC.（[49](#)）や MENU（[51](#)）の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- [P] モードでの撮影範囲は、「撮影距離」（[308](#)）を参照してください。

明るさ（露出）に関する機能を使う

静止画

明るさを変える（露出補正）

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で補正できます。



- <FUNC. SET> を押して、メニュー項目の [±0] を選んだあと、<▲> か <▼> を押して画面の表示を見ながら明るさを補正します (49)。
- 設定した補正量が表示されます。

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。

1 〔☼〕にする（📖85）

2 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<▶>を押します。
- [AEL] が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度<▶>を押すと、[AEL] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する



- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。

測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [測光] を選び、目的の項目を選びます (49)。
- 設定した項目が表示されます。

 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
 スポット測光	画面中央に表示される [] (スポット測光枠) の範囲のみを測光します。

ISO 感度を変える



- <FUNC. SET> を押して、メニュー項目の「ISO」を選び、目的の項目を選びます (📖49)。
- 設定した項目が表示されます。

明るさを補正して撮る (i- コントラスト)

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。また、画面全体で明暗差が小さいときは、くっきりした印象となるように自動補正して撮影することができます。



- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの「i- コントラスト」を選び、[自動] を選びます (📖51)。
- 設定されると [G] が表示されます。



- 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (📖203)。

色や連続撮影に関する機能を使う

静止画

動画

色あいを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- <P.W.B. SET> を押して、メニュー項目の「AWB」を選び、目的の項目を選びます（[P.49](#)）。
- 設定した項目が表示されます。

AWB	オート	撮影シーンに応じて自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇り空や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	水中	水中（ P.106 ）
	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」（[138](#)）の操作で を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、<MENU> ボタンを押します。
- 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。



- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。

画像の色調を変える（マイカラー）

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [40FF] を選び、目的の項目を選びます (49)。
- 設定した項目が表示されます。

40FF マイカラー切	—
Av くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
AN すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
Se セピア	セピア調になります。
BW 白黒	白黒になります。
Ap ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
AL 色白肌	人の肌が色白になります。
AD 褐色肌	人の肌が褐色になります。
AB あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
AG あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。

A_R あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
A_C カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます。



- **[A_{Se}]** **[A_{BW}]** では、ホワイトバランス (📖 138) は設定できません。
- **[A_L]** **[A_D]** では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

静止画

動画

■ カスタムカラー

画像のコントラスト (明暗差)、シャープネス (先鋭度)、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ 5 段階から選んで設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える (マイカラー)」 (📖 140) の操作で **[A_C]** を選び、**<MENU>** ボタンを押します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押して項目を選び、<◀> か <▶> を押して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- <MENU> ボタンを押すと設定されます。

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」(📖308)を参照してください。



1 設定する

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [] を選んだあと、項目の [] を選びます (📖49)。
- 設定されると [] が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- セルフタイマー (📖81)、[目つむり検出] (📖95) とは一緒に使えません。
- 連続撮影中は、シャッターボタンを半押ししたときのピンント位置と露出に固定されます。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

【🌻】に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖308）を参照してください。



- <◀> を押したあと、<◀> か <▶> を押して 【🌻】 を選び、<ⓘ> を押します。
- 設定されると 【🌻】 が表示されます。



- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、【🌻】が灰色表示になりピントが合いません。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、【📷】で撮影することをおすすめします（📖82）。

マニュアルフォーカスで撮る

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（[📖308](#)）を参照してください。



MF インジケーター

1 [MF] を選ぶ

- <◀> を押したあと、<◀> か <▶> を押して [MF] を選んだあとすぐに、<▲> か <▼> を押します。

2 おおよそのピントを合わせる

- MFインジケータの距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、<▲> か <▼> を押しておおよそのピントを合わせ、<FUNC/SET> を押します。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます（セーフティMF）。



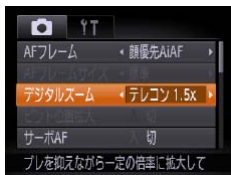
- マニュアルフォーカス中は、AF フレームモード (📖 148) は [中央] 固定、AF フレームの大きさ (📖 149) は [標準] 固定になります。
- デジタルズーム (📖 80)、デジタルテレコンバーター (📖 147) を使用しているとき、テレビに表示しているとき (📖 238) は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- MENU (📖 51) で [📷] タブの [MF 拡大表示] で [切] を選ぶと、拡大表示されなくなります。
- MENU (📖 51) で [📷] タブの [セーフティ MF] で [切] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります。

デジタルテレコンバーターを使う

レンズの焦点距離を 1.5 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖51)。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- 記録画素数 (📖89) が [L] [M1] のときは、倍率が青色で表示されて画像が粗くなります。
- デジタルズーム (📖80)、ピント位置の拡大表示 (📖94) とは、一緒に使えません。
- デジタルテレコンバーターが使えるのは、縦横比が [4:3] のときのみです。



- ズームボタンの <📷> 側を押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）」の手順 2 (📖80) の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

AF フレームモードを変える

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）フレームモードを変えられます。



- <MENU> ボタンを押して、[カメラ] タブの [AF フレーム] を選び、目的の項目を選びます (51)。

顔優先 AiAF

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい〔AWB〕時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大2つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大9個）が表示されます。



- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。
- サーボ AF (📖 153) が [入] で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

静止画

動画

■ 中央

AF フレームが中央 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと [!] が表示されます。



- AF フレームを小さくしたいときは、<MENU> ボタンを押して、[📷] タブの [AF フレームサイズ] で [小] を選びます (📖51)。
- デジタルズーム (📖80) やデジタルテレコンバーター (📖147) 使用時、マニュアルフォーカス (📖145) 時は、[標準] に設定されます。
- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します (フォーカスロック撮影)。
- [ピント位置拡大] (📖94) を [入] にしているときは、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、AF フレームの位置が拡大して表示されます。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 [キャッチ AF] を選ぶ

- 「AF フレームモードを変える」（[148](#)）の操作で [キャッチ AF] を選びます。
- 画面中央に [□] が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に [□] が重なるようにカメラを動かして <◀> を押します。
- 被写体が検出されると電子音が鳴り、[] 枠が表示されます（動いていても一定の範囲で追いつけます）。
- 被写体が検出できなくなったときは、[□] が表示されます。
- 解除するときには、もう一度 <◀> を押します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、 が青色の  に変わり、被写体を追いつけながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）（[153](#)）。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- 撮影後も  が表示され、被写体を追いつけます。



- [サーボ AF]（[153](#)）は [入] に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- メニューの  タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
-  は設定できません。



- <◀> を押さずにシャッターボタンを半押ししても被写体を検出できます。撮影後は、画面中央に  が表示されます。
- [MF] に設定するとき（[145](#)）は、<◀> を 1 秒以上押します。

サーボ AF で撮る

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、
[カメラ] タブの[サーボ AF]を選び、
[入] を選びます (📖51)。

2 ピントを合わせる

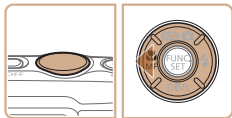
- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を離して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- メニューの [📷] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- セルフタイマー (📖81) 使用時は設定できません。

AF ロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を離しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、<◀> を押します。
- ピントが固定され、[AFL] が表示されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度<◀> を押すと、[AFL] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

ストロボに関する機能を使う

静止画

ストロボモードを変える

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「ストロボ調光範囲」(P308)を参照してください。



1 設定する

- <▶> を押したあと、<◀> か <▶> を押してストロボモードを選び、<FUNC SET> を押します。
- 設定した項目が表示されます。

[A] オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

[F] 常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

[S] スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [⚡] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 158)。
- [⚡] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [🔇] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

静止画

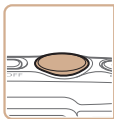
FE ロックで撮る

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影 (📖 135) と同様に固定できます。

1 [⚡] にする (📖 156)

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<▶> を押します。
- ストロボが発光し、[FEL] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。



- シャッターボタンから指を離してもう一度<▶>を押すと、[FEL] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

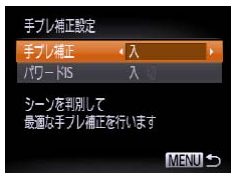


- FE は、Flash Exposure（フラッシュエクスポージャー）の略でストロボ露出のことです。

静止画

動画

手ブレ補正の設定を変える



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[CAMERA] タブの[手ブレ補正設定]を選び、<FUNC SET>を押します(📖51)。

2 設定する

- [手ブレ補正]を選んでから、目的の項目を選びます(📖52)。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます(📖78)。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

* 動画を撮影するときは、[入] の設定に変わります。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。

動画

■ パワード IS 機能を切る

パワード IS は、動画を望遠にして撮影するときのゆっくりとした手ブレを補正します。ただし、歩きながら撮影するときや被写体の動きにあわせてカメラを大きく動かしたときなどは、思いどおりの効果が得られないことがあります。そのようなときは、パワード IS を [切] に設定します。



- 「手ブレ補正の設定を変える」(📖 158) の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [パワード IS] を選んでから、[切] を選びます (📖 78)。



- [手ブレ補正] が [切] のときは、[パワード IS] の設定は反映されません。

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- <▶> ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。

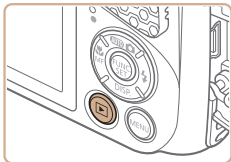


- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る.....	161	消す.....	184
画像を探したり、特定の 画像だけを見る.....	169	回転する.....	189
いろいろな方法で画像を 見る.....	173	分類する.....	192
保護する.....	178	静止画を編集する.....	198
		動画を編集する.....	207

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

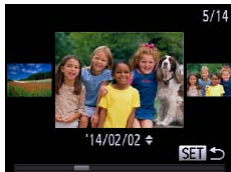
- <▶> ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- <◀> を押すと前の画像が表示され、<▶> を押すと次の画像が表示されます。





- <◀> か <▶> を 1 秒以上押すと左の画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で <◀> か <▶> を押して画像を選びます。
- <FUNC SET> を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に <▲> か <▼> を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[SET 人] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- <FUNC SET> を押したあと、<▲> か <▼> を押して [▶] を選び、もう一度 <FUNC SET> を押すと再生がはじまります。

4 音量を調整する

- <▲> か <▼> を押して調節します。

5 一時停止する

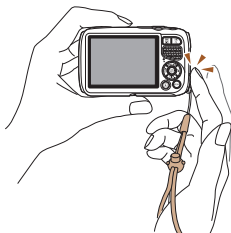
- <FUNC SET> を押すたびに、一時停止／再開できます。
- 再生が終わると [SET] が表示されます。



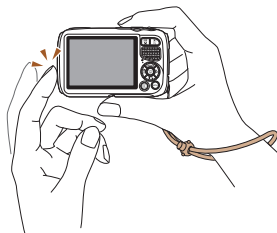
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (51) で [▶] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (51) で [▶] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (51) で [▶] タブの [再生効果] を選び、目的の効果を選びます。

アクティブ再生

画像を表示しているとき、下の図のようにカメラを指で軽くたたくと、画像を切り換えることができます。



次の画像に切り換える



前の画像に切り換える



- 必ずストラップに手首を通した状態で、カメラを落とさないようしっかり持ってください。
- たたきかたによっては画像が切り換わらないことがあります。



- <MENU> ボタンを押して [▶] タブの [スクロール再生] を [切] にして、「見る」の手順2 (📖 161) の操作で画像を選ぶときは、<◀> を押したままカメラを傾けると画像が速く切り換わります。なお、表示される画像は粗くなります。
- アクティブ再生を使わないときは、<MENU> ボタンを押して [▶] タブの [アクティブ再生] を選び、[切] を選びます (📖 51)。

表示を切り換える

画面表示は、<▼> を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」（[162](#)）を参照してください。



情報表示なし



簡易情報表示



詳細情報表示



ピント位置確認表示
（[167](#)）※



※ 動画では表示されません。

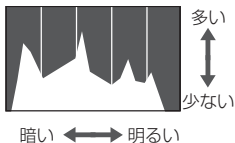


- 撮影直後の画面表示も、<▼> を押して切り換えられます。ただし、簡易情報表示にはなりません。最初に表示される画面は、<MENU> ボタンを押して「 タブの「レビュー情報」で変えられます（[99](#)）。

高輝度（ハイライト）警告

「詳細情報表示」（[165](#)）にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

ヒストグラム



- 「詳細情報表示」(165) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

GPS 情報表示



- 「詳細情報表示」の状態でも▲>を押すと、[GPS] を[入]にして撮影した静止画や動画に記録(60)されている、測位したカメラの位置(緯度/経度/標高)や撮影日時を確認することができます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC] (撮影日時)です。
- もう一度▲>を押すと「詳細情報表示」に戻ります。



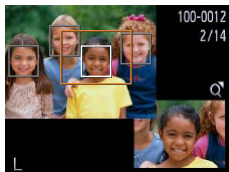
- GPS 衛星からの信号が受信できないときや正しく測位できなかった項目の数値には[---]が表示されます。



- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

ピント位置を確認する（フォーカスチェッカー）

撮影時にピント合わせをした AF フレームの位置を、拡大表示することができます。



1 ピント位置確認表示にする

- <▼> を押します（ 165）。
- ピント合わせを行った AF フレームの位置に、白の枠が表示されます。
- 再生時に検出された顔の位置には、灰色の枠が表示されます。
- オレンジ色の枠の箇所が拡大表示されます。



2 拡大表示する箇所を変える

- ズームボタンの <Q> 側を一度押します。
- 左の画面が表示されます。
- 複数の枠が表示されているときは、<FUNC/SET> を押すと別の枠に移動します。

3 拡大率や表示位置を変える

- ズームボタンを押して表示倍率を変えたり、<▲><▼><◀><▶>を押して表示位置を変えながら確認します。
- <MENU> ボタンを押すと手順1に戻ります。

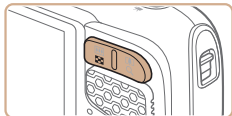
画像を探したり、特定の画像だけを見る

静止画

動画

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームボタンの<■>側を押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームボタンの<Q>側を押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶>を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- <FUNC SET>を押すと選ばれている画像が1枚表示になります。

指定した条件で画像を探す

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（[📖178](#)）、消したり（[📖184](#)）することもできます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像（ 📖192 ）を表示
🕒 日付	指定した撮影日の画像を表示
📁 マイカテゴリー	指定したカテゴリーの画像（ 📖194 ）を表示
📷 静止画／動画	静止画、動画、[📷] モード（ 📖118 ）で作成された動画のいずれかを表示



1 検索条件を選ぶ

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [📷] を選び、条件を選びます（[📖49](#)）。
- [🕒] [📁] [📷] を選んだときは、表示された画面で <▲><▼><◀><▶> を押して条件を選び、<FUNC SET> を押します。



2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、<◀> か <▶> を押すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で [🔍] を選びます。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 手順 2 で <▼> を押すと、情報の非表示／表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき (手順 2) は、「一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す」(📖 169)、「拡大して見る」(📖 173)、「スライドショーで見る」(📖 174) などの操作で画像を見ることができます。また、「保護する」(📖 178)、「まとめて消す」(📖 185)、「印刷指定 (DPOF)」(📖 257)、「フォトブック指定」(📖 263) で「検索したすべての画像を指定」を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- カテゴリーを変えたり (📖 194)、画像を編集して新規保存 (📖 199 ~ 206) などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

ムービーダイジェストモードで作成された動画を見る

[] モード ( 118) で作成された動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- < > を押して、メニュー項目の [] を選び、目的の日付を選びます ( 49)。

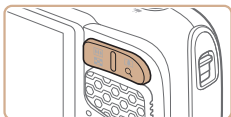
2 再生する

- < > を押すと、動画が再生されます。

いろいろな方法で画像を見る

静止画

拡大して見る



表示位置の目安

1 拡大する

- ズームボタンの<Q>側を押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約10倍まで拡大できます。
- ズームボタンの<旗>側を押すと縮小表示になり、押したままにすると1枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- <▲><▼><◀><▶>を押すと、表示位置が移動します。
- [SET 旗]が表示されている状態で<FUNC SET>を押すと[SET 旗]表示に切り換わり、<◀>か<▶>を押すと拡大したまま画像を切り換えられます。もう一度<FUNC SET>を押すとともに戻ります。

- カメラを指で軽くたたく (📖164) と、拡大したまま画像を切り換えることができます (アクティブ再生)。



- 拡大表示のときに <MENU> ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。

静止画

動画

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像 1 枚あたりの表示時間は約 3 秒です。



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [🔍] を選び、目的の項目を選びます (📖49)。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーが始まります。
- <MENU> ボタンを押すと終わります。



- スライドショー中に節電機能 (📖45) は働きません。



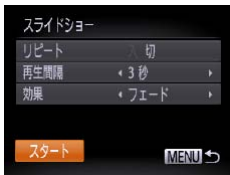
- 再生中に <PUNC SET> を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に <◀▶> か <▶▶> を押すと画像を切り換えられ、<◀▶> か <▶▶> を押したままにすると早送りできます。
- 検索 (📖 170) しているときは、対象の画像のみが再生されます。
- スライドショー中にカメラを指で軽くたたく (📖 164) と、画像を切り換えることができます (アクティブ再生)。

設定を変える

スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果 (再生効果) を変えられます。

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、
[▶] タブの [スライドショー]
を選びます (📖 51)。



2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖 52)。
- [スタート] を選んで <PUNC SET> を押すと、設定した内容でスライドショーがはじまります。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- [効果] で [バブル] を選んだときは、[再生間隔] は変えられません。

いろいろな画像を表示する（連想再生）

表示している画像をもとに、4つの画像をカメラが選んで表示します。その中から1つ選ぶとさらに4つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。



1 連想再生にする

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [] を選びます (49)。
- 4枚の画像が候補として表示されます。



2 画像を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押して次に見たい画像を選びます。
- 選んだ画像が画面中央に表示され、次の4枚の候補が表示されます。
- <FUNC SET> を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 <FUNC SET> を押すともとの表示に戻ります。
- <MENU> ボタンを押すと1枚表示に戻ります。



- このカメラで撮影した静止画だけが連想再生の対象になります。
- 次のときは連想再生を使えません。
 - このカメラで撮影した静止画が 50 枚に満たないとき
 - 対象の画像以外を表示しているとき
 - 検索した画像を表示しているとき (📖 170)

保護する

大切な画像をカメラの消去機能（[📖 184](#)）で誤って消さないよう、保護することができます。



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [🔒] を選ぶ（[📖 49](#)）と、[保護しました] が表示されます。
- 解除するときには、上記の操作でもう一度 [🔒] を選び、<FUNC SET> を押します。



- カードを初期化（[📖 215、217](#)）すると、保護された画像も消えます。



- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの「保護」を選びます (📖51)。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖52)。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (📖 179) の操作で「画像指定」を選び、<FUNC SET>を押します。



2 画像を選び指定する

- <◀> か <▶> を押して画像を選び、<FUNC SET>を押すと [🔑] が表示されます。
- もう一度 <FUNC SET> を押すと [🔑] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 保護する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (179) の操作で「範囲で指定」を選び、<FUNC SET>を押します。



2 始点の画像を指定する

- <FUNC SET>を押します。



- <◀▶> か <▶▶> を押して画像を選び、<FUNC SET>を押します。



3 終点の画像を指定する

- <▶> を押して [終点選択] にし、<FUNC SET> を押します。

- <◀> か <▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押します。
- 始点より前の画像は選べません。

4 保護する

- <▼> を押して [保護] を選び、<FUNC SET> を押します。

すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (📖 179) の操作で「すべての画像を指定」を選び、<FUNC SET>を押します。

2 保護する

- <▲> か <▼> を押して「保護」を選び、<FUNC SET>を押します。



- 「範囲で指定する」の手順 4、「すべての画像を指定する」の手順 2 で「解除」を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないなので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（ 178）は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選びます。

2 消す

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [🗑] を選びます（ 49）。
- [消去しますか?] が表示されたら、<◀> か <▶> を押して [消去] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◀> か <▶> を押して [キャンセル] を選び、<FUNC SET> を押します。



まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないのので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（ 178）は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、 タブの「消去」を選びます（ 51）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（ 52）。
- <▲> か <▼> を押して指定方法を選び、<FUNC SET> を押します。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する



1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (185) の操作で「画像指定」を選び、<FUNC SET>を押します。

2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順 2 (180) の操作で画像を選ぶと、[✓]が表示されます。
- もう一度<FUNC SET>を押すと[✓]が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET>を押します。

■ 範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (📖 185) の操作で「範囲で指定」を選び、<FUNC SET>を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2 ~ 3 (📖 181) の操作で指定します。

3 消す

- <▼>を押して「消去」を選び、<FUNC SET>を押します。



すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (185) の操作で「すべての画像を指定」を選び、<FUNC SET>を押します。

2 消す

- <◀▶> か <▶▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET>を押します。



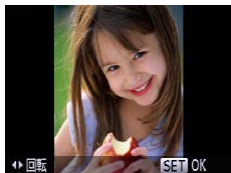
回転する

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [回転] を選ぶ

- <FUNC-SET> を押して、メニュー項目の [回転] を選びます (📖49)。



2 回転する

- <◀▶> か <▶▶> を押すと指定した方向に 90 度単位で回転し、<FUNC-SET> を押すと設定されます。

メニューから操作する



1 「回転」を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、
[▶] タブの「回転」を選びます (📖51)。



2 回転する

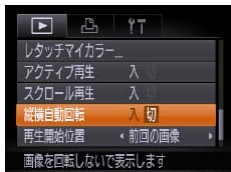
- <◀> か <▶> を押して画像を選びます。
- <FUNC. SET> を押すたびに 90 度単位で回転します。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 画質が [F1920] [F1280] の動画は回転できません。
- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖191)。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- <MENU> ボタンを押して、
 [▶] タブの [縦横自動回転]
 を選び、項目の [切] を選びま
 す (📖 51)。



- [切] にすると、画像の回転 (📖 189) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生 (📖 176) では、[切] に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

分類する

お気に入りやマイカテゴリーを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 見る (📖161)、スライドショーで見る (📖174)、保護する (📖178)、消す (📖184)、印刷指定 (DPOF) (📖257)、フォトブック指定 (📖263)

お気に入り設定をする



- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [★] を選びます (📖49)。
- [お気に入り指定しました] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 [★] を選び、<FUNC SET> を押します。

メニューから操作する



1 【お気に入り】を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの【お気に入り】を選びます (51)。



2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押すと [★] が表示されます。
- もう一度 <FUNC SET> を押すと [★] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

3 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



- Windows 8、Windows 7、Windows Vista をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が3 (★★★★☆☆) に設定されます (動画を除く)。

画像を分類する (マイカテゴリー)

画像を種類別に分類できます。なお、撮影時には、シーンに応じて自動で分類されます。

- 👤：顔が検出された画像、または [👤] モードで撮影した画像
- 🌅：[AUTO] モード時に [🌅] [🌅] [🌅] と判別された画像、または [🌅] モードで撮影した画像
- 🎵：[🎵] [🎵] [🎵] [🎵] モードで撮影した画像



1 カテゴリーを選ぶ

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の [👤] を選びます (📖49)。

2 画像を選び指定する

- <◀▶> か <▶▶> を押して画像を選び、<▲> か <▼> を押してカテゴリーを選び、<FUNC SET> を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 <FUNC SET> を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、マイカテゴリーが設定されません。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの [マイカテゴリー] を選びます (51)。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (51)。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (195) の操作で「画像指定」を選び、<FUNC SET> を押します。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選びます。

3 カテゴリーを選ぶ

- <▲> か <▼> を押してカテゴリーを選び、<FUNC SET> を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 <FUNC SET> を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

4 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示され、<◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。



- 手順 4 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、マイカテゴリーが設定されません。

■ 範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (📖 195) の操作で「範囲で指定」を選び、<FUNC SET>を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3 (📖 181) の操作で指定します。

3 カテゴリーを選ぶ

- <▼>を押して種類の項目を選び、<◀>か<▶>を押してカテゴリーを選びます。



4 設定する

- <▼>を押して「設定」を選び、<FUNC SET>を押します。



- 手順 4 で「解除」を選ぶと、「範囲で指定」した画像のカテゴリーを、まとめて解除することができます。

静止画を編集する



- 静止画の編集機能（ 198 ～ 206）は、カードに空き容量がないと使えません。

静止画

画像を小さくする（リサイズ）

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 「リサイズ」を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、 タブの「リサイズ」を選びます（ 51）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押します。

3 大きさを選ぶ

- <◀> か <▶> を押して大きさをを選び、<FUNC SET> を押します。
- 「新規保存しますか？」が表示されます。





4 新規保存する

- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 別画像として保存されます。



5 画像を確認する

- <MENU> ボタンを押すと [保存した画像を表示します] が表示されます。
- <◀> か <▶> を押して [はい] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 保存した画像が表示されます。



- 手順 3 で [XS] にした画像は、編集できません。



- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

画像を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 【トリミング】を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、
[▶] タブの【トリミング】を選びます (📖51)。

2 画像を選ぶ

- <◀▶> か <▶▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押します。

3 切り抜く範囲を調整する

- 画像を切り抜く範囲が枠で表示されます。
- 左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像が表示されます。
- ズームボタンを押すと枠の大きさが変わります。
- <▲><▼><◀▶> を押すと枠の位置が移動できます。
- <FUNC SET> を押すと枠の縦横が変わります。
- <MENU> ボタンを押します。

切り抜き範囲



切り抜き範囲の表示

切り抜き後の記録画素数



4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4～5（[199](#)）の操作を行います。



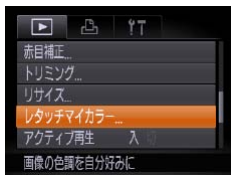
- 記録画素数が [S] の画像（[89](#)）や、リサイズした [XS] の画像（[198](#)）は、編集できません。



- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。

画像の色調を変える（レタッチマイカラー）

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える（マイカラー）」（[📖 140](#)）を参照してください。



1 「レタッチマイカラー」を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、
[📺] タブの「レタッチマイカラー」を選びます（[📖 51](#)）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押します。

3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して項目を選び、<FUNC SET> を押します。



4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4～5（[📖 199](#)）の操作を行います。



- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。

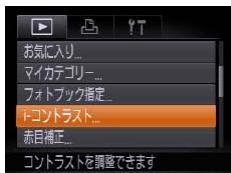


- 撮影時のマイカラー（ 140）と色調が若干異なることがあります。

静止画

明るさを補正する（i- コントラスト）

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は 4 種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i- コントラスト] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、 タブの [i- コントラスト] を選びます（ 51）。

2 画像を選ぶ

- <◀▶> か <▶▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押します。



3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して項目を選び、<FUNC SET> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4～5（📖 199）の操作を行います。



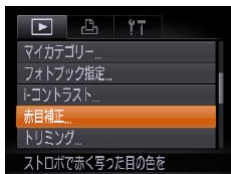
- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなる場合があります。



- [自動] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、
[▶] タブの[赤目補正] を選びます (📖51)。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選びます。

3 補正する

- <FUNC SET> を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」 (📖173) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

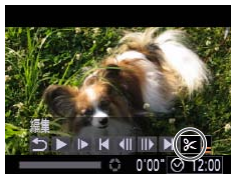
- <▲><▼><◀><▶> を押して「新規保存」を選び、<FUNC SET> を押します。
- 別画像として保存されます。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 5 (📖 199) の操作を行います。



- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で「上書き保存」を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。

動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます。



動画編集パネル



動画編集バー

1 [⌘] を選ぶ

- 「見る」の手順 1 ～ 5 (📖 161 ～ 163) の操作で [⌘] を選び、<FUNK-SET> を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

2 編集範囲を指定する

- <▲> か <▼> を押して [⌘] または [⌘] を選びます。
- <◀> か <▶> を押して [⏮] を動かすと、編集できるところで [⌘] が表示されます。[⌘] を選ぶと [⌘] 位置より前部、[⌘] を選ぶと後部が削除されます。
- [⏮] を [⌘] 以外の位置に指定しても、[⌘] では1つ左側の [⌘] 位置よりも前部、[⌘] では1つ右側の [⌘] 位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- <▲> か <▼> を押して [▶] を選び、<FUNC SET> を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときは、<▲> か <▼> を押して [⏮] を選び、<FUNC SET> を押したあと、<◀> か <▶> を押して [OK] を選び、もう一度 <FUNC SET> を押します。



4 編集した動画を保存する

- <▲> か <▼> を押して [⏮] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <▲><▼><◀><▶> を押して [新規保存] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 別動画として保存されます。



- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（[229](#)）を使うことをおすすめします。

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を
変える **210**

カメラの基本機能を変える

MENU (📖 51) の [⚙️] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- [消音] を選び、[する] を選びます。



- <▼> を押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (📖 161) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に <▲> を押すと音声が届き、<▲> か <▼> を押すと音量を調整できます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [音量] を選び、**<FUNC SET>** を押します。
- 項目を選び、**<◀>** か **<▶>** を押して音量を変えます。

音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。



- [音の選択] を選び、**<FUNC SET>** を押します。
- 項目を選び、**<◀>** か **<▶>** を押して内容を選びます。

機能の説明を表示しない

FUNC. (📖49) や MENU (📖51) で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [液晶の明るさ] を選び、<◀> か <▶> を押して明るさを変えます。

さらに明るくする

[液晶の明るさ] で最高の明るさにしたときよりも、さらに明るくすることができます。



- [液晶晴天モード] を選び、[入] を選びます。



- [液晶晴天モード] を [入] にすると、[液晶の明るさ] 設定は無効になります。
- 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに <▼> を 1 秒以上押したままにしても [液晶晴天モード] を設定できます。もう一度 <▼> を 1 秒以上押したままにすると、もとの明るさに戻ります。

起動画面を変える

電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。



- [起動画面] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押して内容を選びます。

OFF	起動画面は表示されません。
1	オリジナルの画像が登録されています。 画像は変えられません。
2	オリジナルの画像が登録されています。 撮影した画像を登録することもできます。

撮影した画像を起動画面にする



1 再生モードで [起動画面] 画面を表示する

- <▶> ボタンを押します。
- 上記の手順で [2] を選び、<FUNC SET> を押します。



2 画像を選んで登録する

- 画像を選んで<FUNC SET>を押すと「登録しますか?」が表示されるので、<◀>か<▶>を押して「OK」を選び、<FUNC SET>を押します。



- 起動画面を登録すると、以前の登録内容は消えます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

また、Eye-Fi カード（[266](#)）では、初期化する前にカード内のソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

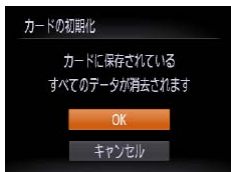
1 【カードの初期化】画面を表示する

- 「カードの初期化」を選び<FUNC SET>を押します。



2 [OK] を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して [キャンセル] を選んだあと <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。



3 初期化する

- <▲> か <▼> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押すと初期化が始まります。
- 初期化が終わると [カードの初期化が完了しました] が表示されるので、<FUNC SET> を押します。



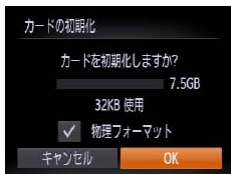
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

■ カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「カードを初期化する」の手順 2 (📖 216) の画面で、<▲> か <▼> を押して「物理フォーマット」を選び、<◀> か <▶> を押して「✓」を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順 2～3 (📖 216) の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖 215) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に「中止」を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ～ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

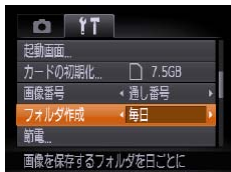
通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (215) したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ソフトウェアの使用説明書」(241) を参照してください。

フォルダを撮影日ごとに作る

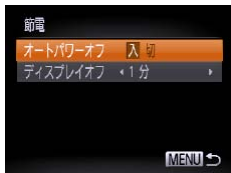
撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（[45](#)）。



- [節電] を選び <FUNC SET> を押しします。
- 項目を選んだあと、<◀▶> か <▶> を押して設定を変えます。



- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、[オートパワーオフ] を [入] にし、[ディスプレイオフ] を [1 分] 以下にすることをすすめます。



- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [切] のときも働きます。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(31) で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [✈訪問先] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押して訪問先エリアを選びます。
- <◀> か <▶> を押して [⌘] にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。
- <FUNC SET> を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

- <▲> か <▼> を押して [✈ 訪問先] を選び、<MENU> ボタンを押します。
- 撮影画面 (📖279) に [✈] が表示されます。



- [✈] の状態で日付／時刻を変える (📖33) と、[🏠 自宅] の日時も自動的に変わります。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [日付 / 時刻] を選び <FUNC SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押して項目を選び、<▲> か <▼> を押して設定します。

GPS 機能やロガー機能を使う

GPS 機能やロガー機能が使えるように設定できます。設定したあとの使いかたについては「GPS 機能を使う」(📖59)を参照してください。



- [GPS 設定] を選び、<FUNC SET> を押します。
- GPS 機能が使えるようになるときは、[GPS] を選んだあと、[入] を選びます。
- ロガー機能が使えるようになるときは、上記の操作で [GPS] を [入] にしてから、[ロガー] を選んだあと、[入] を選びます。
- <MENU> ボタンを押すと GPS 機能やロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認した上で <FUNC SET> を押します。

距離表示や標高表示の単位を変える

GPS 情報（標高）（60）、ズームバー（71）、MFインジケータ（145）などの表示単位を、m/cm から ft/in（フィート／インチ）に変えることができます。



- [距離 / 標高表示] を選び、[ft/in] を選びます。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



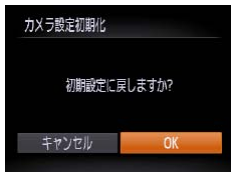
- [言語- <◀> か <▶> を押して言語を選び、<FUNC SET> を押します。



- 再生モードにして、<FUNC SET> を押したまま、すぐに <MENU> ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [カメラ設定初期化] を選び、 を押します。

2 初期状態に戻す

- <◀▶> か <▶▶> を押して [OK] を選び、 を押します。
- カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [📷] タブの [起動画面] に登録した画像 (📖214)、[日付 / 時刻] (📖221)、[エリア設定] (📖220)、[言語] (📖223)、[ビデオ出力方式] (📖237)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (📖139)
 - ワンポイントカラー (📖114)、スイッチカラー (📖116) で指定した色
 - 撮影モード (📖101)

その他の基本機能を変える

次の機能も「」タブで設定できます。

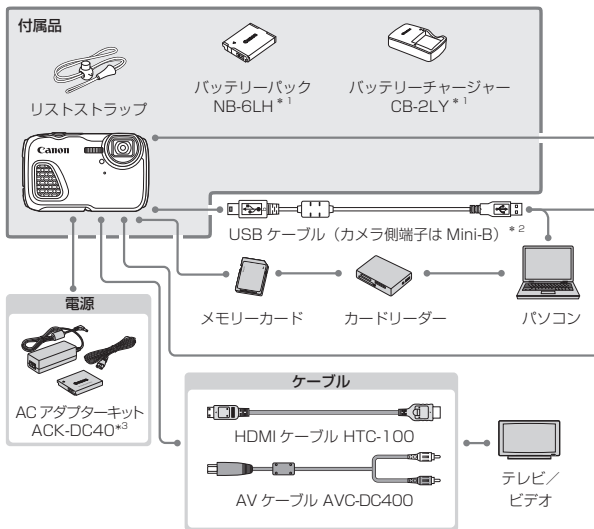
- [GPS 自動時刻設定] ( 67)
- [GPS 設定] の [ログファイル表示] ( 65)
- [ビデオ出力方式] ( 237)
- [HDMI 機器制御] ( 235)
- [Eye-Fi 設定] ( 267)

アクセサリー

別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ	227	ソフトウェアを使う	241
別売アクセサリー	229	印刷する.....	248
別売アクセサリーの 使いかた	233	Eye-Fi カードを使う	266

システムマップ



*1 別売りも用意されています。

*2 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-400PCU) もあります。

*3 付属の DC カプラーは使用しません。

ストロボ



ハイパワーフラッシュ
HF-DC2

キヤノン製 PictBridge 対応プリンター



その他



ソフトケース
SC-DC80



シリコンジャケット
SJ-DC1



フロート
FT-DC1

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

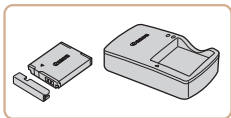
なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源



バッテリーパック NB-6LH

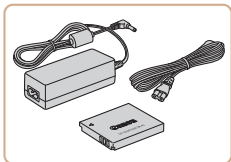
- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LY

- バッテリーパック NB-6LH 用のバッテリーチャージャーです。



- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは ▲ が見えるように、充電前のバッテリーは ▲ が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。
- バッテリーパック NB-6LH もお使いになれます。



AC アダプターキット ACK-DC40

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



- AC アダプターキット ACK-DC40 に付属の DC カプラーは使用しません。
- AC アダプターキット ACK-DC40 の他に、ACK-DC10、ACK-DC30、ACK-DC60、ACK-DC70、ACK-DC80、ACK-DC90 もお使いになれます。



- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

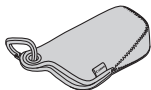
ストロボ



ハイパワーフラッシュ HF-DC2

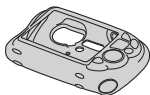
- 被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う外付けストロボです。なお、HF-DC1 もお使いになれます。

その他



ソフトケース SC-DC80

- カメラをキズやホコリから守ります。



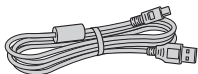
シリコンジャケット SJ-DC1

- カメラを傷から守り、海水を含む水中でも使うことができます。



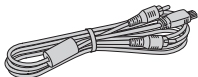
フロート FT-DC1

- 水中でカメラが沈まないようにします。
- 水深 10m まで使えます。



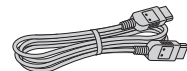
インターフェースケーブル IFC-400PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。



AV ケーブル AVC-DC400

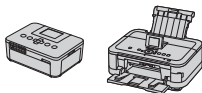
- 撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。



HDMI ケーブル HTC-100

- カメラとHD（ハイビジョン）対応テレビのHDMI 端子をつなぐケーブルです。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- キヤノン製の PictBridge 対応プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。

製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

別売アクセサリーの使いかた

テレビで見る

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。

なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (📖282)。

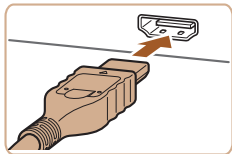
HD (ハイビジョン) 対応テレビで見る

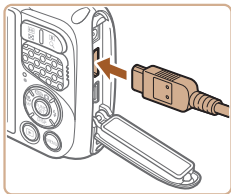
HDMI ケーブル HTC-100 (別売) でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、[FHD] や [FHD] で撮影した動画は HD (ハイビジョン) 画質で見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。

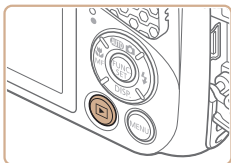




- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順2の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

テレビのリモコンで操作する

HDMI 機器制御機能（HDMI CEC）対応のテレビとカメラをつなぐと、テレビのリモコンで画像の切り換えや、スライドショーなどの操作ができます。

テレビによっては、テレビ側の設定が必要です。詳しくは、テレビの使用説明書を参照してください。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[] タブの [HDMI 機器制御] を選び、[入] を選びます（51）。

2 テレビとカメラをつなぐ

- 「HD（ハイビジョン）対応テレビで見る」の手順 1～2（233）の操作でテレビとカメラをつなぎます。

3 画像を表示する

- テレビの電源を入れ、カメラの <> ボタンを押します。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。

4 テレビのリモコンで操作する

- リモコンの<◀> か <▶> で画像を選びます。
- 決定ボタンを押すとテレビに操作パネルが表示されます。<◀> か <▶> で項目を選び、もう一度決定ボタンを押します。

テレビに表示される操作パネル一覧

 戻る	メニューが消えます。
 動画再生	動画を再生します（動画を選んでいるときのみ表示）。
 スライドショー	画像を自動的に再生します。再生中にリモコンの<◀> か <▶> を押すと画像を切り換えられます。
 インデックス表示	画像を一覧で表示します。
DISP. 情報表示切り換え	画面の表示を切り換えます（ 165 ）。



- カメラの<MENU> ボタンを押すなど、カメラを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで1枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- HDMI 機器制御機能（HDMI CEC）に対応したテレビであっても、正しく動作しないことがあります。

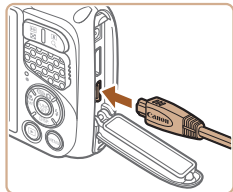
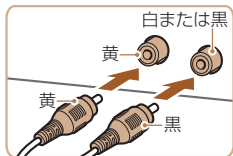
■ HD（ハイビジョン）非対応テレビで見る

AV ケーブル AVC-DC400（別売）でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの外部入力端子へしっかりと差し込みます。
- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。



3 画像を表示する

- 「HD（ハイビジョン）対応テレビで見る」の手順3～4（[234](#)）の操作で画像を表示します。



- 出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。＜MENU＞ボタンを押して、[↑]タブの[ビデオ出力方式]で出力方式を変えてください（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。



- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、ピント位置拡大（[94](#)）、スティッチアシスト（[127](#)）、MF 拡大表示（[145](#)）はできません。

静止画

動画

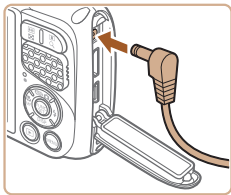
家庭用電源でカメラを使う

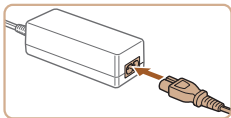
AC アダプターキット ACK-DC40（別売）を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る

2 プラグをカメラにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。





3 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

シリコンジャケットを使う

シリコンジャケット SJ-DC1（別売）を使うと、カメラを傷から守り、海水を含む水中でもカメラを使うことができます。



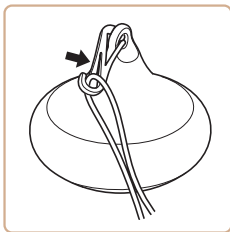
- 図のように矢印の方向にカメラを入れて、取り付けます。
- カメラが傷つくことを防ぐため、カメラとジャケットの間に砂やホコリが入らないよう注意してください。



- ジャケットの取り付け、取り外しは丁寧に行ってください。無理に引っ張ると、ジャケットが破損する恐れがあります。
- カメラとジャケットの間に砂やホコリが入ったときは、カメラが傷つくことを防ぐため必ず取り除いてください。
- 「海水を含む水中」、「砂や泥などが付着するような場所」などで使ったときは、30℃以下の真水（水道水など）で十分に洗い、やわらかい布などで水分を十分に拭き取ってください。

フLOATを使う

フLOAT FT-DC1（別売）を使うと、水中でカメラが沈まないようにすることができます。水深 10m まで使えます。



- 本体に付属のリストラップの先端に、図のようにフLOATを取り付けます。



- フLOATをつぶしたり傷つけると、浮力が低下する原因となることがありますのでご注意ください。



- 使用後は、30℃以下の真水（水道水など）で十分に洗い、やわらかい布などで水分を十分に拭き取ってください。

ソフトウェアを使う

ここでは、弊社 Web サイトからダウンロードするソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

ソフトウェアを弊社 Web サイトからダウンロードしてインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

CameraWindow（カメラウィンドウ）

- 画像の取り込みやカメラの各種設定

ImageBrowser EX（イメージブラウザー イーエックス）

- 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
- 画像の印刷や各種の編集



- インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

ソフトウェアの使用説明書

ソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

OS *	Windows	Mac OS
	Windows 8/8.1	Mac OS X 10.9
	Windows 7 SP1	Mac OS X 10.8
	Windows Vista SP2	Mac OS X 10.7
	Windows XP SP3	



- 最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。

1 ソフトウェアをダウンロードする

- パソコンからインターネットへ接続し、「<http://www.canon.com/icpd/>」に接続します。
- お住まいの国／地域のサイトへ接続します。
- ソフトウェアをダウンロードします。



2 インストールする

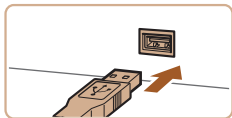
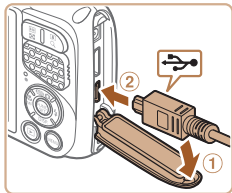
- [おまかせインストール] をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。
- お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の[完了]または[再起動]をクリックします。



画像をパソコンに取り込む

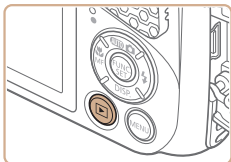
ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。

その他の機能については、各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。



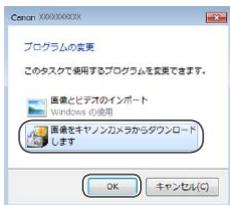
1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き（①）、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます（②）。
- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



2 電源を入れて CameraWindow (カメラ ウィンドウ) を表示する

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [] のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。
- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。
- [] をダブルクリックします。



CameraWindow



3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの <▶> ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」(📖 241) を参照してください。



- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの [📷] をクリックします。
- Windows Vista または Windows XP をお使いのときは、手順 2 でカメラの電源を入れるとパソコンに表示される画面で「画像をキヤノンカメラからダウンロードします」をクリックして、CameraWindow を表示します。この操作で画面が表示されないときは、[スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [CameraWindow] を選びます。
- Mac OS で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
 - GPS ログファイル (📄62) は正しく取り込まれないことがあります。
 - 動画編集など、ソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。

印刷する

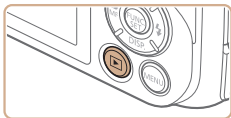
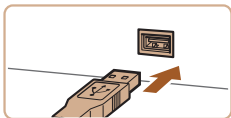
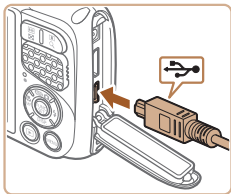
撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

かんたん印刷

撮影した画像は、カメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）を USB ケーブルでつないで、かんたんに印刷できます。

1 カメラとプリンターの電源を切る



2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる

4 カメラの電源を入れる

- <□> ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選びます。



6 印刷画面を表示する

- <FUNC SET> を押したあと、[印刷] を選び、もう一度 <FUNC SET> を押します。

7 印刷する

- <▲> か <▼> を押して [印刷] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときには、印刷が終わったあと、手順5からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」(P232) を参照してください。

印刷設定をする



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6 (248 ～ 250) の操作で左の画面を表示します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押して項目を選び、<◀> か <▶> を押して内容を選びます。

🖨️	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
🖼️	切	－
	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	－
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
🔍	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	－	印刷する範囲を指定します (252)。
用紙設定	－	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (253)。

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

画像の一部を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (251) の操作で印刷画面を表示したあと、[トリミング] を選び、<FUNC SET> を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。

2 切り抜く範囲を指定する

- ズームボタンを押して枠の大きさを変えます。
- <▲><▼><◀><▶> を押して枠の位置を変えます。
- <FUNC SET> を押すと枠が回転します。
- <MENU> ボタンを押したあと、<▲> か <▼> を押して「領域確定」を選び、<FUNC SET> を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 7 (250) の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
- カメラで「日付写し込み」の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

静止画

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (251) の操作で印刷画面を表示したあと、「用紙設定」を選び、<FUNC SET>を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

- <▲> か <▼> を押して内容を選び、<FUNC SET>を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- <▲> か <▼> を押して内容を選び、<FUNC SET>を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- <▲> か <▼> を押して内容を選びます。
- [複数画像] を選んだときは、<◀> か <▶> を押して印刷枚数を選びます。
- <FUNC SET> を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1 枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が4:3の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1 ～ 4 (253) の操作で [ID フォト] を選び、 を押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

-  か  を押して項目を選んだあと、 か  を押して長さを選び、 を押します。

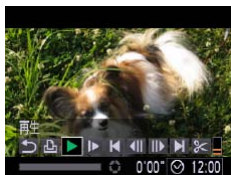


3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する (トリミング)」の手順 2 (252) の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する

動画を印刷する



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6 (248 ～ 250) の操作で動画を選び、左の画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して [] を選び、<◀> か <▶> を押して印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1 枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に  を押すと、印刷を中止します。
- CP720 / CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、[ID フォト] や [連続コマ] は指定できません。

静止画

印刷指定 (DPOF)

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (262) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

FUNC. メニューで印刷指定する

撮影直後や画像の再生中に、FUNC. メニューで印刷指定 (DPOF) ができます。

1 画像を選ぶ

- ◀▶ か ▶▶ を押して画像を選びます。



2 印刷指定をする

- <FUNC SET> を押してメニュー項目の [] を選んだあと、もう一度 <FUNC SET> を押します。
- <▲> か <▼> を押して印刷枚数を指定し、<◀> か <▶> を押して [指定する] を選び、<FUNC SET> を押します。

静止画

印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- <MENU> ボタンを押して、[] タブの [印刷の設定] を選んだあと、項目を選び、設定します (51)。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—

印刷後指定 解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—



- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、**[!]** が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- **[日付]** を **[入]** に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。



- **[インデックス]** に設定したときは、**[日付]** と **[画像番号]** の両方を **[入]** にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、**[Y]** タブの **[日付 / 時刻]** で設定した内容で印刷されます（**31**）。

静止画

1 枚ずつ枚数を指定する



1 **[印刷する画像を指定]** を選ぶ

- **<MENU>** ボタンを押して、**[]** タブの **[印刷する画像を指定]** を選び、**<FUNC SET>** を押します。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して画像を選び、<FUNC SET> を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると[✓]が表示され、もう一度 <FUNC SET> を押すと解除されて[✓]が消えます。



3 枚数を設定する

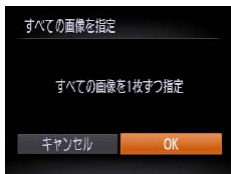
- <▲> か <▼> を押して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- <MENU> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する



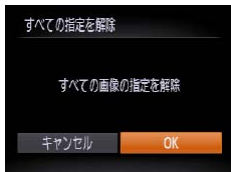
- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (259) の操作で「範囲で指定」を選び、<FUNC SET>を押します。
- 「範囲で指定する」の手順2～3 (181) の操作で指定します。
- <▲> か <▼> を押して「画像指定」を選び、<FUNC SET>を押します。

すべての画像を指定する



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (259) の操作で「すべての画像を指定」を選び、<FUNC SET>を押します。
- <◀> か <▶> を押して「OK」を選び、<FUNC SET>を押します。

すべての指定を解除する



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (259) の操作で [すべての指定を解除] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET> を押します。

印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する

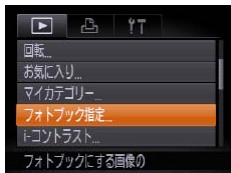


- 印刷指定した画像 (257 ~ 261) があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐと左の画面が表示されます。<▲> か <▼> を押して [すぐに印刷] を選び、<FUNC SET> を押すと、印刷指定した画像をかたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックにしたい画像を指定（最大998画像）し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ



- <MENU> ボタンを押して、
[▶] タブの[フォトブック指定]
を選んだあと、指定方法を選び
ます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、
[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を
変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることが
あります。



- パソコンに取り込んだあとは、「ソフトウェアの使用説明書」
(241) やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照し
てください。

1 枚ずつ指定する



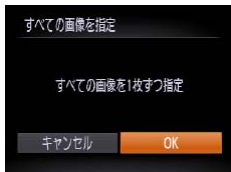
1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(263) の操作で「画像指定」を選び、**<FUNC SET>** を押します。

2 画像を選ぶ

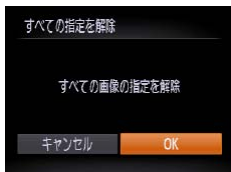
- **<◀▶>** か **<▶▶>** を押して画像を選び、**<FUNC SET>** を押します。
- **[✓]** が表示されます。
- もう一度 **<FUNC SET>** を押すと解除され、**[✓]** が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- **<MENU>** ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する



- 「指定方法を選ぶ」(263)の操作で「すべての画像を指定」を選び、<FUNC SET>を押します。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET>を押します。

すべての指定を解除する



- 「指定方法を選ぶ」(263)の操作で「すべての指定を解除」を選び、<FUNC SET>を押します。
- <◀> か <▶> を押して [OK] を選び、<FUNC SET>を押します。

Eye-Fi カードを使う

Eye-Fi カードを使うときは、その国や地域で使用が認められているか、必ず事前に確認してください（📖3）。

セットアップした Eye-Fi カードをカメラに入れると、撮影した画像をワイヤレスでパソコンに自動転送したり、オンライン上のサービスにアップロードしたりできます。

画像の転送は Eye-Fi カードの機能です。カードのセットアップ方法、使用方法、転送時の不具合などについては、カードの使用説明書を参照するかカードメーカーにお問い合わせください。



- Eye-Fi カードの使用中は、次のことに注意してください。
 - [Eye-Fi 通信] を [しない] に設定（📖268）しても、電波が発信されることがあります。病院や航空機内など電波の発信が禁止されている場所では、事前に Eye-Fi カードを取り出しておいてください。
 - 画像が転送できないときは、カードやパソコンの設定を確認してください。詳しくは、カードの使用説明書を参照してください。
 - Eye-Fi 通信の接続状態によっては、画像の転送に時間がかかったり、転送が中断したりすることがあります。
 - Eye-Fi カードは、通信機能があるため、熱くなることがあります。
 - バッテリーの消耗が早くなります。
 - カメラの動作が遅くなります。[Eye-Fi 通信] を [しない] に設定すると解決することがあります。

Eye-Fi カードをカメラに入れると、撮影画面（情報表示時）や再生画面（簡易情報表示時）で通信状態を確認できます。

 （灰色点灯）	未接続	 中断	
 （白点滅）	接続中	 通信停止	
 （白点灯）	転送待機	 Eye-Fi カード情報取得エラー* ²	
 （アニメーション）	転送中* ¹		

*¹ 画像の転送中は、節電機能が働きません（ 45）。

*² 電源を入れなおしてください。繰り返し表示されるときは、カードの異常が考えられます。

転送された画像には、 が表示されます。



-  モードを選んでいるときは、Eye-Fi 通信が中断されます。他の撮影モードに変えるか、再生モードにすると再開されますが、 モードで作成された動画は重複して転送されることがあります。

通信情報を確認する

接続先 SSID や通信状態を確認できます。



- <MENU> ボタンを押して、 タブの「Eye-Fi 設定」を選び、<FUNC SET>を押します。
- 「通信情報一覧」を選び、<FUNC SET>を押します。
- 通信情報一覧が表示されます。

Eye-Fi 通信をしない

Eye-Fi 通信をしない設定にできます。



- <MENU> ボタンを押して、[↑↑] タブの [Eye-Fi 設定] を選び、<FUNC SET> を押します。
- [Eye-Fi 通信] を選び、[しない] を選びます。



- Eye-Fi カードを入れていないときや、ライトプロテクトスイッチがある Eye-Fi カードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、[Eye-Fi 設定] が表示されません。そのため、ライトプロテクトスイッチがある Eye-Fi カードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、設定を変えることができませんので注意してください。

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら.....	270	機能／メニュー 一覧.....	284
画面に表示される メッセージ一覧.....	276	日ごとの取り扱いに ついて	304
画面の表示内容一覧.....	279	主な仕様.....	305

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (📖25)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (📖27)。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (📖28)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる (📖236)

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (📖 160) は、シャッターボタンを半押ししてください (📖 46)。

暗い場所での画面表示がおかしい (📖 48)

撮影中の画面表示がおかしい

次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。

- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画像に日付が写し込まれない

- [日付 / 時刻] の設定 (📖 31) だけでは写し込まれませんので、[日付 写し込み] を設定してください (📖 86)。
- [日付 写し込み] が設定 (📖 86) できない撮影モード (📖 293) では、写し込みはされません。

シャッターボタンを押したら、画面に [⚡] が点滅表示されて撮影できない (📖 75)

シャッターボタンを半押ししたときに、[📷] が表示される (📖 75)

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (📖 158)。
- ストロボモードを [⚡] にしてください (📖 156)。
- ISO 感度を高くしてください (📖 137)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 158)。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (📖 46)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (📖 308)。
- [AF 補助光] を [入] にしてください (📖 96)。
- 意図しない機能 (マクロ撮影など) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください (📖 150、155)。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボモードを [🔦] にしてください (📖 156)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖 134)。
- i-コントラストで補正してください (📖 137、203)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖 135)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボモードを [🔦] にしてください (📖 85)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖 134)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖 135)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (📖 75)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖 308)。
- ISO 感度を高くしてください (📖 137)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖 308)。
- ストロボモードを [🔦] にしてください (📖 85)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖137)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖104)。

目が赤く写る (📖90)

- [赤目緩和ランプ] を [入] に設定してください (📖97)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (📖5) が点灯して、約 1 秒間は赤目現象を緩和するため撮影できません。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (📖205)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (📖217)。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」(📖284 ~ 293) で確認してください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (📖215、307)。

画面に【🔴】が表示され、撮影が自動的に終わった

カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。

- カードをこのカメラで物理フォーマットする (📖217)。
- 画質を変える (📖91)。
- 書き込み速度の速いカードを使う (📖307)。

ズームできない

- [📷] モード (📖110)、[📹] モード (📖130) では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」(📖241) を参照してください。

再生が中断する、または音声が続切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (📖217)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が続切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を [する] に設定 (📖210) しているときや、音声がいさいときは、音量を調整してください (📖163)。
- [📷] モード (📖110)、[📹] モード (📖130) では音声は録音されていないため、音は出ません。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (📖44)。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。

- <▶> ボタンを押して再生モードにしたあと、<MENU> ボタンを押したまま、<▲> と <FUNC SET> を同時に押します。表示された画面で <◀> か <▶> を押して [B] を選び、<FUNC SET> を押します。

Eye-Fi カード

画像が転送できない (📖 266)

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (📖28)。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (📖28)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (📖28)。

カードが異常です (📖217)

- 使えるカード (📖3) を初期化して正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください (📖28)。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (📖70、100、132) や編集 (📖198～206) はできません。画像を消して (📖184) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (📖27)。

バッテリーを交換してください (📖27)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (📖178)

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます／再生できません (AVI) ／RAW

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／登録できない画像です／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。拡大 (📖173)*、連想再生 (📖176)*、回転 (📖189)*、お気に入り (📖192)、編集 (📖198～206)*、印刷指定 (📖258)*、フォトブック指定 (📖263)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (📖181、187、261) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとした。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (📖258) やフォトブック指定 (📖263) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (📖258) やフォトブック指定 (📖263) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (📖178)、消去 (📖184)、お気に入り (📖192)、マイカテゴリー (📖194)、印刷指定 (📖258)、フォトブック指定 (📖263) で、501 枚以上の画像を指定しようとした。

通信エラー

- カードに大量の画像 (1000 枚程度) があるため、パソコンに画像を取り込んだり印刷したりできません。パソコンへ取り込むときは、カードリーダー (市販品) を使います。印刷するときは、プリンターのカードスロットにカードを差して印刷します。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[🔑] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (📖218)、カードを初期化します (📖215)。

レンズエラーを検知しました

- レンズの不具合を検知しました。電源ボタンを押して、電源を入れ直します (📖44)。
- 頻繁に表示される場合は故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示される場合は故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (📖248) できないことがあります。

印刷エラー

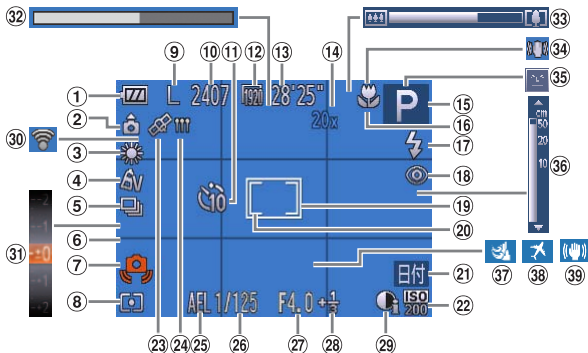
- 用紙サイズの設定を確認してください (📖253)。正しく設定されていてもこのエラーが表示される場合は、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



- | | | |
|--------------------|-----------------|---------------------------------------|
| ① バッテリー残量表示 (📖281) | ⑦ 手ブレ警告 (📖75) | ⑬ 撮影可能時間 (📖307) |
| ② カメラ位置 * | ⑧ 測光方式 (📖136) | ⑭ ズーム倍率 (📖80)、
デジタルテレコンバーター (📖147) |
| ③ ホワイトバランス (📖138) | ⑨ 記録画素数 (📖89) | ⑮ 撮影モード (📖284)、
シーンアイコン (📖77) |
| ④ マイカラー (📖140) | ⑩ 撮影可能枚数 (📖307) | |
| ⑤ ドライブモード (📖143) | ⑪ セルフタイマー (📖81) | |
| ⑥ グリッドライン (📖93) | ⑫ 動画の画質 (📖91) | |

- ①⑥ フォーカスゾーン (📖144)、AF ロック (📖155)
- ①⑦ ストロボモード (📖85、156)
- ①⑧ 赤目自動補正 (📖90)
- ①⑨ AF フレーム (📖148)
- ②⑦ スポット測光枠 (📖136)
- ②① 日付写し込み (📖86)
- ②② ISO 感度 (📖137)
- ②③ GPS 受信状態 (📖59)
- ②④ ロガー情報表示 (📖62)
- ②⑤ AE ロック (📖135)、FE ロック (📖157)
- ②⑥ シャッタースピード
- ②⑦ 絞り数値
- ②⑧ 露出補正量 (📖134)
- ②⑨ i- コントラスト (📖137)
- ③⑦ Eye-Fi 通信状態 (📖266)
- ③① 露出補正バー (📖134)
- ③② ハイスピード動画撮影時間 (📖130)
- ③③ ズームバー (📖71)
- ③④ 手ブレ補正アイコン (📖78)
- ③⑤ 目つむり検出 (📖95)
- ③⑥ MF インジケータ (📖145)
- ③⑦ ウィンドカット (📖92)
- ③⑧ エリア設定 (📖220)
- ③⑨ 手ブレ補正 (📖158)

* 📷 : 通常、📷📷 : カメラを縦位置に構えたとき

撮影時にカメラの向きを検知して最適な撮影ができるよう制御され、再生時には、カメラが縦向きでも横向きでも、画像が自動的に回転して正位置で見ることができます。

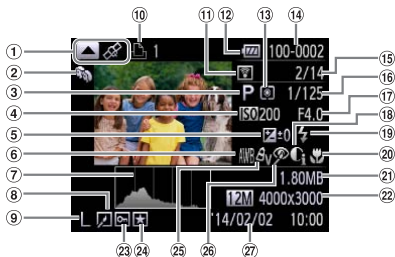
ただし、カメラを真上や真下に向けると正しく検出できないことがあります。

■ バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを交換してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時（詳細情報表示）



- | | | |
|--|-------------------------------|--|
| ① 動画 (📖70、161)、表示切り換え (GPS情報表示) (📖166) | ⑧ 画像編集 (📖198～206) | ⑬ シャッタースピード (静止画)、画質 / フレーム数 (動画) (📖89、91、130) |
| ② マイカテゴリー (📖194) | ⑨ 記録画素数 (📖89、91、130)、MOV (動画) | ⑭ 絞り数値 |
| ③ 撮影モード (📖284) | ⑩ 印刷指定 (📖248) | ⑮ i-コントラスト (📖137、203) |
| ④ ISO 感度 (📖137)、倍速 (📖111) | ⑪ Eye-Fi 転送済み画像 (📖266) | ⑯ スロボ発光 (📖156) |
| ⑤ 露出補正量 (📖134) | ⑫ バッテリー残量表示 (📖281) | ⑰ フォกัสゾーン (📖144) |
| ⑥ ホワイトバランス (📖138) | ⑬ 測光方式 (📖136) | ⑱ ファイルサイズ |
| ⑦ ヒストグラム (📖166) | ⑭ フォルダ番号 - 画像番号 (📖218) | ⑲ 静止画：記録画素数 (📖307) |
| | ⑮ 再生画像番号 / 総画像数 | ⑳ 動画：再生時間 (📖307) |
| | | ㉑ 保護 (📖178) |

②4 お気に入り
(📖192)

②5 マイカラー
(📖140、
202)、
ホワイトバランス
補正 (📖106)

②6 赤目補正
(📖90、
205)
②7 撮影日時
補正 (📖31)



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (📖233)。

■「見る」(📖161) で表示される動画操作パネル一覧

↶	終了
▶	再生
▶	スロー再生 (<◀▶> か <▶▶> を押して再生速度を変更) (音声は再生されません)
◀	前スキップ* (<⏮> を押したままにすると連続してスキップ)
◀◀	フレーム戻し (<⏮> を押したままにすると早戻し)
▶▶	フレーム送り (<⏭> を押したままにすると早送り)
▶	次スキップ* (<⏭> を押したままにすると連続してスキップ)
✂	編集 (📖207)
🖨	PictBridge 対応プリンターとつないだとき (📖248) に表示

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に <◀▶> か <▶▶> を押すか、カメラを指で軽くたたく (📖164) と、前スキップ、次スキップができます (アクティブ再生)。

機能／メニュー一覧

撮影機能一覧

機能		撮影モード	カメラ					
			AUTO	P				
ストロボ (📖85、156)								
 A		○	○	○	○	○	○	○
		—	○	○	○	○	○	○
 *		* 1	○	—	—	—	○	—
		○	○	○	○	○	○	○
AE / FE ロック (📖135、157)* 2		—	○	—	—	—	○	—
AF ロック (📖135)		—	○	—	—	—	○	—
フォーカスゾーン (📖144、155)								
		—	○	—	○	○	○	○
		○	○	○	—	○	○	○
		—	—	○	—	—	—	—
MF		—	○	○	○	○	○	○
キャッチ AF (📖151)		—	○	○	○	○	—	○
画面の表示 (📖48)								
情報表示なし		○	○	○	○	○	○	○
情報表示あり		○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 1 選択不可。ただし状況に応じて []

* 2 FE ロックは [] では不可

機能		撮影モード																			
ストロボ (📖85、156)																					
				○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
AE / FE ロック (📖135、157)* ¹				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
AF ロック (📖135)				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
フォーカスゾーン (📖144、155)																					
				—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
MF				—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
キャッチ AF (📖151)				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○		
画面の表示 (📖48)																					
情報表示なし				—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
情報表示あり				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 1 FE ロックは [📖] では不可

撮影モード									
機能									
ストロボ (📖85、156)									
	A	○	○	○	—	—	—	—	—
		○	○	○	—	○	○	—	—
		—	—	—	—	*1	○	—	—
		○	○	○	○	○	○	○	○
AE / FE ロック (📖135、157)*2									
		—	—	—	—	—	—	—	—
AF ロック (📖135)									
		—	—	—	—	○	—	—	—
フォーカスゾーン (📖144、155)									
		○	○	○	—	○	○	○	○
	A	○	○	○	○	○	○	○	○
		—	—	—	—	—	—	—	—
	MF	○	○	○	—	○	—	○	○
キャッチ AF (📖151)									
		○	○	○	—	○	—	—	—
画面の表示 (📖48)									
	情報表示なし	○	○	—	○	○	—	○	○
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 1 選択不可。ただし発光時は 

* 2 FE ロックは  では不可

FUNC. メニュー 一覧

機能	撮影モード	カメラ						
		AUTO	P					
GPS 設定 (📖59)								
切 / 入		○	○	○	○	○	○	○
測光方式 (📖136)								
		○	○	○	○	○	○	○
[] []		-	○	-	-	-	○	-
マイカラー (📖140)								
Off		○	○	○	○	○	○	○
A _V A _N A _{Se} ^{*1} A _W ^{*1} A _P A _L A _D		-	○	-	-	-	○	-
A _B A _G A _R A _C ^{*2}								
ホワイトバランス (📖138)								
AWB		○	○	○	○	○	○	○
		-	○	-	-	-	○	-
*3		-	○	○	○	-	○	-
水中用ホワイトバランス補正 (📖106)								
		-	-	○	○	-	-	-
ISO 感度 (📖137)								
ISO AUTO		○	○	○	○	○	○	○
ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 3200		-	○	-	-	-	○	-
露出補正 (📖134)								
		-	○	○	○	○	○	○
セルフタイマー (📖81)								
Off		○	○	○	○	○	○	○
C ₀ C ₂ C ₃		○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

* 1 ホワイトバランスは選択不可

* 2 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を5段階設定

* 3 は取り込み不可

機能	撮影モード							
								
GPS 設定 (📖59)								
切 / 入	○	○	○	○	○	○	○	○
測光方式 (📖136)								
	○	○	○	○	○	○	○	○
 	-	-	-	-	-	-	-	-
マイカラー (📖140)								
Off	○	○	○	○	○	○	○	○
A _V A _N A _{Se} * ¹ A _W * ¹ A _P A _L A _D	-	-	-	-	○	○	○	-
A _B A _G A _R A _C * ²	-	-	-	-	○	○	○	-
ホワイトバランス (📖138)								
AWB	○	○	○	○	○	○	○	○
     	-	-	-	-	○	○	○	-
 * ³	-	-	-	-	○	○	○	-
水中用ホワイトバランス補正 (📖106)								
-	-	-	-	-	-	-	-	-
ISO 感度 (📖137)								
ISO AUTO	○	○	○	○	○	○	○	○
ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 3200	-	-	-	-	-	-	-	-
露出補正 (📖134)								
○	○	-	-	○	-	○	-	-
セルフタイマー (📖81)								
Off	○	○	○	○	○	○	○	○
10 2 3	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

* 1 ホワイトバランスは選択不可

* 2 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を5段階設定

* 3   は取り込み不可

機能		撮影モード	カメラ					
			AUTO	P	📷	📹	📺	📱
セルフタイマー設定 (📖83)								
時間* 1		○	○	○	○	○	○	○
枚数* 2		○	○	○	○	○	—	○
ドライブモード (📖143)								
📷		○	○	○	○	○	○	○
📹		—	○	○	○	○	—	○
静止画アスペクト比 (📖88)								
16:9 3:2 4:3 1:1		○	○	○	—	○	—	○
記録画素数 (📖89)								
L		○	○	○	○	○	○	○
M1 M2		○	○	○	○	○	○	○
M		—	—	—	—	—	—	—
S		○	○	○	○	○	○	○
動画の画質 (📖91、130)								
F1920		○	○	○	○	○	○	○
F1280		○	○	○	○	○	○	○
F640		○	○	○	○	○	○	○
📷 480 420		—	—	—	—	—	—	—

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

* 1 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可

* 2 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定

撮影モード										
機能										
セルフタイマー設定 (📖83)										
	時間* 1	○	○	○	○	○	○	○	○	
	枚数* 2	○	○	○	○	○	—	—	—	
ドライブモード (📖143)										
		○	○	○	○	○	○	○	○	
		○	○	○	○	—	—	—	—	
静止画アスペクト比 (📖88)										
	16:9 3:2 4:3 1:1	○	○	○	○	○	—	—	—	
記録画素数 (📖89)										
	L	○	○	○	○	○	○	○	○	
	M1 M2	—	—	—	○	○	○	○	○	
	M	—	—	—	—	—	—	—	—	
	S	—	—	—	○	○	○	○	○	
動画の画質 (📖91、130)										
	F1920	○	○	○	○	○	○	—	—	
	F1280	○	○	○	○	○	○	○	—	
	F640	○	○	○	○	○	○	—	—	
	Q240 1120	—	—	—	—	—	—	—	○	

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

* 1 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可

* 2 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定

撮影タブメニュー一覧

機能	撮影モード	AUTO						
			P					
AF フレーム (📖148)								
顔優先 AiAF *1		○	○	—	—	○	○	○
キャッチ AF		—	○	○	○	○	—	○
中央		—	○	○	○	○	○	○
AF フレームサイズ (📖150) *2								
標準		—	○	○	○	○	○	○
小		—	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム (📖80)								
入		○	○	○	○	○	○	○
切		○	○	○	—	○	○	○
テレコン 1.5x / テレコン 2.0x		—	○	—	—	—	—	—
ピント位置拡大 (📖94)								
入		○	○	○	○	○	—	○
切		○	○	○	○	○	○	○
サーボ AF (📖153)								
入		—	○	○	○	○	—	○
切*3		○	○	○	○	○	○	○
AF 補助光 (📖96)								
入		○	○	—	—	○	○	○
切		○	○	○	○	○	○	○
MF 拡大表示 (📖145)								
入		—	○	○	○	○	—	○
切		○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる

* 2 AF フレームで [中央] 選択時に可

* 3 **AUTO** モードでは動きを検出したときは [入]

機能		撮影モード										
AF フレーム (📖148)												
顔優先 AiAF * 1		○	○	○	○	○	-	-	○	○		
キャッチ AF		-	-	-	-	○	-	-	-	○		
中央		-	-	-	-	○	○	-	○	○		
AF フレームサイズ (📖150) * 2												
標準		-	-	-	-	○	○	-	○	○		
小		-	-	-	-	○	-	-	○	○		
デジタルズーム (📖80)												
入		○	○	○	-	-	-	-	-	-		
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
テレコン 1.5x / テレコン 2.0x		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ピント位置拡大 (📖94)												
入		○	○	○	-	○	-	-	-	○		
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
サーボ AF (📖153)												
入		-	-	-	-	○	-	-	-	○		
切* 3		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
AF 補助光 (📖96)												
入		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
切		-	○	○	○	○	○	○	○	○		
MF 拡大表示 (📖145)												
入		-	-	-	-	○	-	-	-	○		
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○		

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

* 1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる

* 2 AF フレームで [中央] 選択時に可

* 3 **AUTO** モードでは動きを検出したときは [入]

機能 \ 撮影モード									
									
AF フレーム (📖148)									
顔優先 AiAF * 1		○	○	○	—	○	—	○	○
キャッチ AF		○	○	○	—	○	—	—	—
中央		○	○	○	○	○	○	○	○
AF フレームサイズ (📖150) * 2									
標準		○	○	○	○	○	○	○	○
小		○	○	○	—	○	—	○	○
デジタルズーム (📖80)									
入		—	—	—	○	○	—	○	—
切		○	○	○	○	○	○	○	○
テレコン 1.5x / テレコン 2.0x		—	—	—	—	—	—	—	—
ピント位置拡大 (📖94)									
入		○	○	○	—	○	—	—	—
切		○	○	○	○	○	○	○	○
サーボ AF (📖153)									
入		○	○	○	—	—	—	—	—
切 * 3		○	○	○	○	○	○	○	○
AF 補助光 (📖96)									
入		○	○	○	—	○	○	○	○
切		○	○	○	○	○	○	○	○
MF 拡大表示 (📖145)									
入		○	○	○	—	○	—	—	—
切		○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる

* 2 AF フレームで [中央] 選択時に可

* 3 **AUTO** モードでは動きを検出したときは [入]

機能		撮影モード							
		AUTO	P						
セーフティ MF (📖145)									
入		—	○	○	○	○	○	○	
切		○	○	○	○	○	○	○	
ストロボ設定 (📖90、97)									
赤目自動補正	入	○	○	—	—	○	○	○	
	切	○	○	○	○	○	○	○	
赤目緩和ランプ	入	○	○	—	—	○	○	○	
	切	○	○	○	○	○	○	○	
i- コントラスト (📖137)									
自動		○	○	○	○	—	○	—	
切		—	○	—	—	○	○	○	
ウィンドカット (📖92)									
入 / 切		○	○	○	○	○	○	○	
撮影の確認 (📖98)									
切 / 2 ~ 10 秒 / ホールド		○	○	○	○	○	○	○	
レビュー情報 (📖99)									
非表示		○	○	○	○	○	○	○	
詳細表示 / ピント確認		○	○	○	○	○	○	○	
目つむり検出 (📖95)									
入		○	○	—	—	○	○	○	
切		○	○	○	○	○	○	○	
グリッドライン (📖93)									
入		○	○	○	○	○	○	○	
切		○	○	○	○	○	○	○	

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

機能 \ 撮影モード									
									
セーフティ MF (📖145)									
入		○	○	○	—	○	—	○	○
切		○	○	○	○	○	○	○	○
ストロボ設定 (📖90、97)									
赤目自動補正	入	—	—	—	—	○	—	—	—
	切	○	○	○	—	○	○	—	—
赤目緩和ランプ	入	○	○	○	—	○	○	—	—
	切	○	○	○	—	○	○	—	—
i- コントラスト (📖137)									
自動		—	—	—	—	—	—	—	—
切		○	○	○	○	○	○	○	○
ウィンドカット (📖92)									
入 / 切		○	○	○	○	○	○	○	—
撮影の確認 (📖98)									
切 / 2 ~ 10 秒 / ホールド		○	○	○	○	○	○	—	—
レビュー情報 (📖99)									
非表示		○	○	○	○	○	○	—	—
詳細表示 / ピント確認		○	○	○	○	○	—	—	—
目つぶり検出 (📖95)									
入		○	○	○	—	—	—	—	—
切		○	○	○	○	○	○	○	○
グリッドライン (📖93)									
入		○	○	○	○	○	—	○	○
切		○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

機能		撮影モード									
											
											
手ブレ補正設定 (📖158)											
手ブレ補正	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	撮影時	○	○	○	○	○	○	○	—	—	
パワード IS	入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み (📖86)											
切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付のみ / 日付 + 時刻		—	—	—	○	○	—	—	—		

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

📌 設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	📖210
音量	📖211
音の選択	📖211
機能ガイド	📖212
液晶の明るさ	📖213
液晶晴天モード	📖213
起動画面	📖214
カードの初期化	📖215、 217
画像番号	📖219
フォルダ作成	📖219
節電	📖45、 219

項目	参照ページ
エリア設定	📖220
日付/時刻	📖31
GPS 自動時刻設定	📖67
GPS 設定	📖59、 222
距離 / 標高表示	📖223
ビデオ出力方式	📖238
HDMI 機器制御	📖235
Eye-Fi 設定	📖266
言語🗣️	📖34
カメラ設定初期化	📖224

再生タブメニュー一覧

項目	参照ページ
スライドショー	 174
消去	 184
保護	 178
回転	 189
お気に入り	 192
マイカテゴリー	 194
フォトブック指定	 263
i- コントラスト	 203
赤目補正	 205

項目	参照ページ
トリミング	 200
リサイズ	 198
レタッチマイカラー	 202
アクティブ再生	 164
スクロール再生	 163
縦横自動回転	 191
再生開始位置	 163
再生効果	 163

印刷タブメニュー一覧

項目	参照ページ
印刷	—
印刷する画像を指定	 259
範囲で指定	 261

項目	参照ページ
すべての画像を指定	 261
すべての指定を解除	 262
印刷の設定	 257

再生モードの FUNC. メニュー 一覧

項目	参照ページ
回転	 189
印刷指定	 257
印刷	 248
保護	 178
お気に入り	 192
消去	 184

項目	参照ページ
動画再生	 161
ムービー ダイジェスト再生	 172
連想再生	 176
画像の検索	 170
スライドショー	 174

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーを長期間保管するときは、バッテリーを使い切ってカメラから取り出し、ビニール袋などに入れて保管してください。バッテリーを使い切らずに長期間（1 年くらい）保管すると、バッテリー寿命を縮めたり、性能が劣化することがあります。

主な仕様

カメラ部有効画素数 (最大)	約 1210 万画素
レンズ焦点距離	5 倍ズーム：5.0 (W) – 25.0 (T) mm (35mm フィルム換算：28 (W) – 140 (T) mm)
防水性能	JIS/IEC 保護等級 (IPX8) 相当* ¹ 水深 25m 以内で 60 分まで使用可能
防塵性能	JIS/IEC 保護等級 (IP6X) 相当* ¹
耐衝撃性能	MIL Standard 810F Method 516.5 Selecting Procedure IV (米国国防軍用規格) に準じて当社が独自に設定した基準をクリアー* ¹ * ²
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶 有効画素数：約 46.1 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)
データタイプ	静止画：Exif 2.3 (JPEG) 動画：MOV (映像：MPEG-4 AVC / H.264、音声：リニア PCM (モノラル)) GPS ログファイル：NMEA 0183 メッセージ形式に準拠
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI 出力 アナログ音声出力 (モノラル) アナログ映像出力 (NTSC/PAL)
電源	バッテリーパック NB-6LH AC アダプターキット ACK-DC40
動作温度* ³	-10 – 40 °C
大きさ (CIPA 準拠)	109.4 x 68.0 x 27.5 mm
質量 (CIPA 準拠)	約 218 g (電池・メモリーカード含む) 約 194 g (本体のみ)

- * 1 当社試験条件によるものであり、無破損や無故障を保証するものではありません。
- * 2 試験条件
 - 落下高さ：2.0 m
 - 落下面：合板
 - 落下方向：各面（6 面）、各角（4 角）の計 10 方向
 - 落下回数：各方向 3 回、計 30 回
- * 3 -10 - 0 ℃は、バッテリーパック NB-6LH の推奨使用温度範囲外であるため、一時的にバッテリー性能が低下することがありますが、使用可能です。

デジタルズームの焦点距離（35mm フィルム換算）

デジタルズーム【入】	28 - 560 mm (光学ズームとデジタルズームをあわせた 焦点距離)
デジタルテレコン 1.5 倍	42.0 - 210.0 mm
デジタルテレコン 2.0 倍	56.0 - 280.0 mm

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約 300 枚
動画撮影時間* 1	約 1 時間
連続時* 2	約 1 時間 40 分
再生時間	約 6 時間

- * 1 カメラの初期状態で、撮影 / 一時停止、電源の入 / 切、ズームなどの操作をしたときの時間です。
- * 2 「一度に撮影できる時間まで撮影」、「自動停止」を繰り返したときの時間です。
- 撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）

記録画素数（ピクセル）	1 枚のカードに撮影できる枚数（約・枚）	
	8 GB	32 GB
L （ラージ） 12M/4000x3000	2505	10115
M1 （ミドル 1） 2M/2816x2112	4723	19064
M2 （ミドル 2） 2M/1600x1200	12927	52176
S （スモール） 0.3M/640x480	40937	165225

- ・当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- ・表内の数値は画像の縦横比が 4:3 のときの値です。縦横比（ 88）によって撮影できる枚数は変わります。

1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
	8 GB	32 GB
	29 分 39 秒	1 時間 59 分 43 秒
	42 分 11 秒* ¹	2 時間 50 分 19 秒* ²
	1 時間 28 分 59 秒	5 時間 59 分 10 秒
	26 分 24 秒	1 時間 46 分 35 秒
	52 分 28 秒	3 時間 31 分 49 秒

* 1 iFrame 動画（ 129）では、27 分 39 秒

* 2 iFrame 動画（ 129）では、1 時間 51 分 37 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が [1920] [1280] では約 29 分 59 秒、[640] では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 6 以上のカードを使用することをおすすめします。

■ ストロボ調光範囲

もっとも広角側 (📷) にしたとき	30 cm - 3.5 m
もっとも望遠側 (📷) にしたとき	1.0 - 3.0 m

■ 撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (📷) にしたとき	もっとも望遠側 (📷) にしたとき
AUTO	—	1 cm - ∞	1 m - ∞
📷	🌸 MF	1 - 50 cm	—
上記以外	🌸 *	1 - 50 cm	—
	⬆️ A	5 cm - ∞	1 m - ∞
	MF *	1 cm - ∞	1 m - ∞

- * 撮影モードによっては、選択できません。
- 水中で撮影するときは約 1.3 倍になります。

■ 連続撮影の速さ

約 1.9 枚 / 秒

■ シャッタースピード

[AUTO] モードで自動設定される範囲	1 - 1/1600 秒
----------------------	--------------

■ 絞り

F 値	F3.9 / F8.0 (W)、F4.8 / F10 (T)
-----	--------------------------------

■ バッテリーパック NB-6LH

形式： リチウムイオン充電電池
公称電圧： DC 3.7 V
公称容量： 1060 mAh
充放電回数： 約 300 回
使用温度： 0 – 40℃
大きさ： 34.4 x 41.8 x 6.9 mm
質量： 約 22 g

■ バッテリーチャージャー CB-2LY

定格入力： AC 100 V – 240 V (50/60 Hz)、0.085 A (100 V)
 – 0.05 A (240 V)
定格出力： DC 4.2 V、0.7 A
充電時間： 約 2 時間 (NB-6LH 充電時)
充電表示： 充電中：オレンジ色点灯、充電完了：緑色点灯 (2 灯式)
使用温度： 0 – 40℃

索引

【英数字】

AC アダプターキット ...	230, 238
AE ロック	135
AF フレーム	148
AF ロック	155
AV ケーブル	232, 237
CameraWindow (パソコン)	241
DPOF	257
Eye-Fi カード	3, 266
FE ロック	157
FUNC. メニュー	
一覧	287, 303
基本操作	49
GPS	56, 166
HDMI ケーブル	232, 233
iFrame 動画 (動画モード) ...	129
ISO 感度	137
i-コントラスト	137, 203
P (撮影モード)	133
PictBridge (ピクトブリッジ)	232, 248
SD/SDHC/SDXC カード → カード	

【あ】

赤目補正	90, 205
アクセサリ	229
アクティブ再生	164

色あい (ホワイトバランス) ...	138
印刷	248
ウインクセルフタイマー (撮影モード)	122
打上げ花火 (撮影モード)	103
エラー表示	276
オートシャッター (撮影モード)	120
オートモード (撮影モード)	36, 70
オールドポスター (撮影モード)	108
お気に入り設定	192
音	210

【か】

カード	3
撮影できる時間	307
海外で使う	220
回転	189
顔セルフタイマー (撮影モード)	124
顔優先 AiAF (AF フレームモード)	148
拡大表示	173
画質 → 圧縮率 (画質)	

画像	
消す	184
再生 → 見る	
表示時間	98
保護	178
画像番号	218
画像をパソコンに取り込む	244
家庭用電源	238
カメラ	
設定初期化	224
画面	
表示一覧	279, 282
表示言語	34
メニュー	
→ FUNC. メニュー、メニュー	
キャッチ AF	151
魚眼風 (撮影モード)	109
記録画素数 (画像の大きさ)	89
グリッドライン	93
消す	184
検索	170
極彩色 (撮影モード)	108
故障	270

[さ]

サーボ AF	153
再生 → 見る	
撮影	
撮影情報	279
撮影日時 → 日付/時刻	
ジオラマ風 (撮影モード)	110
消去 → 消す	
初期状態 → 設定初期化	

白黒画像	140
水中 (撮影モード)	101
スイッチカラー	
(撮影モード)	116
ズーム	37, 71, 80
スティッチアシスト	
(撮影モード)	127
ステレオ AV ケーブル	233, 237
ストラップ	2, 24
ストロボ	
常時発光	156
スローシンクロ	156
発光禁止	85, 157
スノー (撮影モード)	102
スマイル (撮影モード)	120
スライドショー	174
世界時計	220
設定初期化	224
節電	45
セピア調画像	140
セルフタイマー	81
2 秒セルフタイマー	82
ウイंकセルフタイマー	
(撮影モード)	122
顔セルフタイマー	
(撮影モード)	124
タイマー時間と撮影枚数を	
変える	83
測光方式	136
ソフトウェア	
インストール	243
パソコンへの取り込み	244

【た】

縦横比を変える.....	88
端子.....	234, 237, 249
中央 (AF フレームモード).....	149
長秒時撮影 (撮影モード).....	126
デジタルズーム.....	80
デジタルテレコンバーター.....	147
手ブレ補正.....	158
手持ち夜景 (撮影モード).....	103
テレビで見る.....	233
電源.....	229
→ AC アダプターキット	
→ バッテリー	
→ バッテリーチャージャー (充電器)	
電池	
→ 日付／時刻 (日付／時刻用電池)	
節電.....	45
トイカメラ風 (撮影モード) ...	112
動画	
画質 (記録画素数 / フレーム数).....	89, 91, 130
撮影時間.....	307
編集.....	207
時計機能.....	54
ドライブモード.....	143
トリミング (画像の切り抜き).....	200, 252

【な】

日時 → 日付／時刻

【は】

ハイスピード動画 (動画モード).....	130
バッテリー	
残量表示.....	281
充電.....	25
節電.....	45
バッテリーチャージャー (充電器).....	2, 229
花火 → 打上げ花火 (撮影モード)	
パワード IS.....	159
ピクトブリッジ (PictBridge).....	232, 248
日付／時刻	
画像への写し込み.....	86
世界時計.....	220
設定.....	31
日付／時刻用電池.....	34
変更.....	33
表示言語.....	34
ピント合わせ	
AF フレーム.....	148
AF ロック.....	155
サーボ AF.....	153
ピント位置拡大.....	94
フォーカスゾーン	
マクロ.....	144
マニュアルフォーカス.....	145
フォーカスチェッカー.....	167
フォーカスロック.....	150
フォトブック指定.....	263
付属品.....	2

プリント → 印刷	
プログラム AE	133
編集	
i-コントラスト	203
赤目補正	205
トリミング	
(画像の切り抜き)	200
リサイズ	
(画像を小さくする)	198
レタッチマイカラー	202
ポートレート (撮影モード) ...	102
保護	178
ホワイトバランス (色あい) ...	138

【ま】

マイカテゴリー	194
マイカラー	140
マクロ (フォーカスゾーン) ...	144
マニュアルフォーカス	
(フォーカスゾーン)	145
マニュアルホワイト	
バランス	139
見る	40
1 枚表示	40
インデックス表示	169
拡大表示	173
画像の検索	170
スライドショー	174
テレビで見る	233
連想再生	176
ムービーダイジェスト	
(撮影モード)	118
目つむり検出	95

メニュー	
一覧	284
基本操作	51
メモリーカード → カード	
モノクロ (撮影モード)	113

【ら】

ランプ	53, 96, 97
リサイズ	
(画像を小さくする)	198
リストストラップ → ストラップ	
レタッチマイカラー	202
連想再生	176
連続撮影 (連写)	143
ローライト (撮影モード)	103
露出	
AE ロック	135
FE ロック	157
補正	134

【わ】

ワイド (記録画素数)	89
ワンポイントカラー	
(撮影モード)	114

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ： <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 5 年間です。

なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

適正な動作のために、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いいただくことを推奨いたします。

商標、ライセンスについて

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- iFrame ロゴおよび iFrame シンボルは Apple Inc. の商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

■ このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

■ **製品取り扱い方法に関するご相談窓口**
お客様相談センター
050-555-90005

受付時間：平日 9：00～20：00
土・日・祝日 10：00～17：00
(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ **修理受付窓口**

別紙でご確認ください。

■ **キヤノンデジタルカメラホームページのご案内**

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
<http://canon.jp/cdc>

キヤノンサポートページ
<http://canon.jp/support>

CANON IMAGE GATEWAY
<http://www.imagegateway.net>

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい
国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下の URL よりご覧ください。
<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>